

南米日本人写真帳



31×23センチ

本日乃行會長
永田稠着



南 米
日 人
寫 本
真 帖

本日乃行會
發 行

序

マゼラン海峡の附近から、智利、秘跡の海岸を洗うて、エクスアドルの岬に没するハ
ンボルトの寒流、コロンビアの一角から、終年皚々たる白雪を頂いて、或はチチカ、
の湖を抱き、又はボリビアの國を乗せて、南に走るアンデスの連山。之れ等の連山か
ら其源を發し、熱帯のチャングルを縫うて東流三千哩のアマゾン河。オレンジの根を
洗ひ、マテ茶の林と、アメリカ虎の喉をうるはし、鯨魚淵に躍るラブラタの河。珈琲の
香、大氣に満つる伯利西爾の波狀地。牛と羊と春草を喰むパンバスの國アルセンチ
ナ。鯨遊ぶ大西洋岸に、南十字星を仰いで歌ひ且躍る南半球の民族。數へ來たれば、南
米の天地萬有、一つとして私の心を引きつけざるものは無い。況んや、大和民族の白
菊、黃菊、櫻花、約五萬の同胞は、既に此地に民族指導の開拓者となつて活動して居る。
民族の海外發展と、理想的新天地創造の爲めに、日夜苦心して居る私の心が、夢にも
猶、南米に遊ぶに無理は無い。

グイジョンは實現して、一九二〇年六月一日、私はリオ・デ・ジャネイロ港に上陸し
た。爾來、モジヤナ沿線に珈琲園を見、ノロエスタ線には新日本村を訪ひ、レジストロ
には日本人の移住者と語り、ウルガイ國を過ぎり、ラブラタ河を溯り、「南米の巴里」
ブエノスアイレス市から、アルゼンチナの大平原を横斷し、雪のアンデスを攀ちて、智
利の花園に下たり、ハンボルトの寒流に沿うて、南米のアルサス・ローレーンたる、タク
ナ・アrika地方を見、インカの國秘跡には、征服者ピザロのみいらと、數多き同胞を訪ひ、
バナマ運河には、フランシス・ドレーキの古事を偲んだ。

一九二〇年九月十九日午後六時、汽船トロアに搭じて、クリストバルを出帆し、熱
帯電光のカリビアン海に落つるを見る迄、私は思ふがままに、南米の空氣を吸ひ、其水
を飲んだ。

此間に同行の渡邊秋治君と共に、事情と時間の許す限りに、カメラを用ひたり、筆
を走らせた。此の寫眞帖に納むる所は、かくして得たる寫眞の一部分である。南米を
背景として活動して居る日本人の實況が、幾分にも紀念せらるゝならば、在留同胞
にはせめてもの慰安であり、祖國々民には幾分の刺戟であり、兼ねて私は、任務の一部
が遂行せるゝ様に信せらるゝのである。

この寫眞帖を刊行するに就ては、南米在留の官民各位。巻頭に題字題畫を賜はりた
る各位。及び友人渡邊秋治君に特に深厚なる感謝の意を表します。

此寫眞帖の姉妹篇とも見る可き「南米一巡」が刊行されて居るから、併せて讀んで
戴けば、南米を背景としたる、日本人活動の實況を、理解せらるゝ上に、極めて有益であ
らうと信ずる。

凡例

- 一、本書に納むる所の寫眞は一九二〇年六月一日から、同年九月十九日迄の事實を寫したものである。
- 一、従つて、現在の事實とは相違した點があります。例之、智利共和國の大統領閣下が交代したり、同國の田付公使が榮轉されたりした様に。
- 一、各地で出来るだけ代表的のものを選びましたが、私に時間が無かつた爲めに、參上する事が出来ず、残念ながら掲載する事の出来ないものが、實に澤山に御座います。
- 一、寫眞は、私の旅行した順序に依つて居る。

目次

題字題畫の部

外交調査委員	大岡育造閣下
國勢院總裁	小川平吉閣下
鐵道大臣	元田肇閣下
前農商務大臣	河野廣中閣下
大藏大臣	高橋是清閣下
文部大臣	中橋徳五郎閣下
逓信大臣	野田卯太郎閣下

伯刺西亞の部

日本公使館	一
リオデジャネロ港畫	二
同 (夜)	三
山縣勇三郎君	四
日本人に教へらるる伯國子弟限部氏の三嬢	五
サンボロ洲日本人分布圖	六
聖洲移民收容所同所長	七
同 食堂	八
同 寢室	九
サンボロ日本總領事館	一〇
日伯新聞社社長三浦鑿君	一一
伯刺西爾時報社	一二
同社長黒石清作君の家庭	一三
大正小學校	一四
移民組合と海外興業の幹部諸君	一五
日本貿易株式會社聖市支店	一六
藤崎商會サンボロ市支店	一七
上地旅館主上地彌藏君	一八
カーザ日本吉田政之進君	一九
カーザ東京杉本芳五郎君	二〇
醫師高岡專太郎君と家庭	二一
岡本龍太郎君	二二
石井寫眞館主石井一步君	二三
多羅間鐵輔君と家庭	二四

移民組合リベロン出張所長坂元靖君
フロレス耕地(一)

同 (二)

同耕地總支配人白井介仁君の家庭	二五
箕原磯吉君	二六
ジョキアム耕地支配人半澤虎尾君	二七
日伯産業組合	二八
福川薩然君の家族	二九
池園鶴松君	三〇
稻田新三君	三一
間弓義蹄君	三二
中山當藏君の一族	三三
石橋恒四郎君と笹田正數君	三四
サン・ゲラルド耕地	三五
吉瀬軍平君	三六
八田一藤君の一族	三七
福川爲然君	三八
弘田秀馬君	三九
土地材木植民會社ロバート君	四〇
宮崎八郎君とブリグイ町	四一
仙臺旅館佐藤謙治君	四二
アグアリンバ青年會	四三
鐘ヶ江藤太郎君	四四
貝原儀八君	四五
一ノ瀬勘助君	四六
千原本吉君	四七
山根製糖工場山根君の家族	四八
宇治野順治君	四九
安戸・高橋組	五〇
イタコロミー植民地建設者上塚周平君	五一
鈴木貞次郎君	五二
村崎豐重君	五三
續三兄弟	五四
坂元七兄弟(一)	五五
同 (二)	五六
中川昨太郎君	五七
伊藤庄吉君	五八

齋藤・井上農園	三〇
行徳三次郎君	三〇
杉卯太郎君	三〇
間崎三三一君	三〇
國崎重次君	三〇
山口三之助君 <small>精米場</small>	三〇
森部一衛君	三〇
上野順吉君	三〇
藤永力藏君	三〇
師富卷藏君	三〇
太田久次郎君	三〇
農田源行君	三〇
鎌田幾松君	三〇
中川キト君	三〇
甲斐喜次郎君	三〇
網田重藏君	三〇
瀧澤仁三郎君 <small>著者</small>	三〇
日本旅館 <small>澤尾磯七君</small>	三〇
矢崎節夫君 <small>在伯同胞の天長節</small>	三〇
富岡漸君の米田	三〇
平野植民地	三〇
大瀧製糖組合	三〇
海外興業會社 <small>レジストロ植民地</small>	三〇
同 <small>レジストロ植民地本部</small>	三〇
同 <small>同地方地形一般</small>	三〇
同 <small>第三植民地</small>	三〇
同 <small>レジストロ植民地の收穫</small>	三〇
同 <small>同地日本村</small>	三〇
同 <small>アニューマス耕地</small>	三〇
同 <small>同地珈琲收穫</small>	三〇
同 <small>同地荳の收穫</small>	三〇
同 <small>同地畜牛</small>	三〇
神田榮太郎君	三〇
島谷漁業組合	三〇
上原直義君	三〇
清水安次郎君	三〇
三吉一義君	三〇

金山喜三郎君の家具製造工場	(一)
日本郵船株式會社南米航路	(一)
同	(二)
大阪商船株式會社南米航路	(一)
同	(二)

アルヘンチナの部

ブエノス・アイレス(晝)	夜
同	(夜)
日本公使館員と領事館員	
特命全權公使中村操閣下夫妻	
週報社長池田誠造君	
横濱正金銀行 <small>ブ市支店</small>	
三井物産株式會社 <small>ブ市出張所</small>	
南米商會	
矢野上甲合名會社南米支店	
メソン・サツマ	
相良周吉商店	
藤松組支社	
日本貿易株式會社亞國支店	
内田商事株式會社 <small>ブ市出張所</small>	
瀧波商店 <small>ブ市支店</small>	
大西商店南米支店	
日本棉花株式會社南米出張所	
東洋洗濯所 <small>藤原辰次郎君</small>	
伊藤農場	
在亞日本人労働組合	
日本力行會亞國支部	
亞國の日本人農業者	
亞國の大農園	
亞國生産小麥の山	
亞國の畜産	
アンテス山脈	

智利の部

マゼラン海峡	
首府サンチアゴ市	

大統領閣下と田付公使閣下	二三
智利在留民と日本公使館	二三
千田商會(一)	二三
同 (二)	二三
同 (三)	二三
同 (四)	二三
清水商會(一)	二六
同 (二)	二六
ボリビア先住民族の老夫婦	二六
智利國の美人	二六
みかど商會	二四
兼松商會	二四
太平洋貿易會社	二四
古川合名會社	二五
廣田商店	二六

秘 露 の 部

チチカカ湖畔	二七
東洋汽船株式會社南米航路船	二八
カイヤオ港の安洋丸	二九
秘露共和國大統領閣下	二九
インカの廢墟	二九
日本帝國領事館	二九
秘露中央日本人會	二九
里馬日本人小學校開校紀念	二九
アンデス時報社	二九
森岡移民會社里馬支店	二九
森本商店	二九
橋谷商會(一)	二九
同 (二)	二九
同 (三)	二九
同 (四)	二九
富永新太郎君(一)	二九
同 (二)	二九
同 (三)	二九
同 (四)	二九
末富商會(一)	二九

末富商會(二)	二九
工藤商會(一)	二九
同 (二)	二九
オーロヤ鐵道(世界最高)の鐵橋	二九
インカの舊地クスコ	二九
高橋理髮店	二九
池田福松商會	二九
大正商會	二九
廣瀬兄弟商會	二九
富田商會	二九
熊澤商店里馬支店	二九
寺島商店(一)	二九
同 (二)	二九
越山商店	二九
酒井時計店	二九
堀山商店里馬支店	二九
太平洋貿易秘露部	二九
アンデス商會里馬支店	二九
田中商會	二九
北原商會	二九
中島洋服店	二九
マタラ牧場	二九
武藤工業社	二九
野澤商店	二九
黒飛醬油醸造場	二九
岡田元西組合(一)	二九
同 (二)	二九
同 (三)	二九
同 (四)	二九
在秘沖繩縣人會	二九
野々宮商店	二九
河本商會	二九
濱村商店	二九
小川洋酒珈琲洋菓子商	二九
中村理髮店	二九
名城商店	二九
増田商店	二九

小林ガレッジ
アンデス正宗醸造所
石田商店
里馬市日本人理髮同業組合
浦洋食店
在里馬福島縣人會
祕露日本人商業組合
在祕露廣島縣人會
香川縣人相隣會
佐賀縣人會
里馬家具雜貨商同業組合
熊本縣人會
在祕露大分縣人會
里馬洋食店同業組合
ウカヤリ河孟の土人
アマゾン河の上流

巴 奈 馬 の 部

巴奈馬運河ガツン水道
巴奈馬運河通過の米艦
巴奈馬日本人協濟會
巴奈馬の土人と市場

雜 の 部

著者横濱出帆
--------	-------

使 公 口 堀

館 使 公 本 日



日本公使館は領事館と共にゲルンタリオ・デ・パトリア街一六六番にある公使堀口九萬一氏を始め館員諸氏皆熱心親切に萬端の世話をして居る。

Legação do Japao, Rio de Janeiro Brazil



伯利西爾共和國は面積日本の約廿二倍、人口約二千七百萬、氣候溫暖地味肥沃產物極めて豊富、日本人の移住者を歓迎し在留同胞三萬五千人、リオ・デ・ジャネイロは其首府である。

Rio de Janeiro Brazil

リオ・デ・ジャネイロ市は伯利西爾共和國の首府で人口百五十拾萬人、世界の最も美麗なる港で朝から夜まで其色彩が刻々と變化して行く。日本人の在留者約百名、公使館、領事館、領事館、正金銀行支店、藤崎商會其他の商店等がある。



Rio de Janeiro Brazil



我足可洗
我已強壯
我衣可換
安亭頂

辛酉年
山縣三郎

伯利西爾開拓の雄志を抱いて此國に來たり數千町歩の農園と宏大な製鹽場を經營する外に多數の漁夫を引率し來つて漁業を開始し更に海鹽業に其金を進めて居る。

隈部三郎氏の一家族は伯刺西爾の開拓者で、其令嬢方は同國の師範學校を卒業し、伯國の子弟を教育して居る。

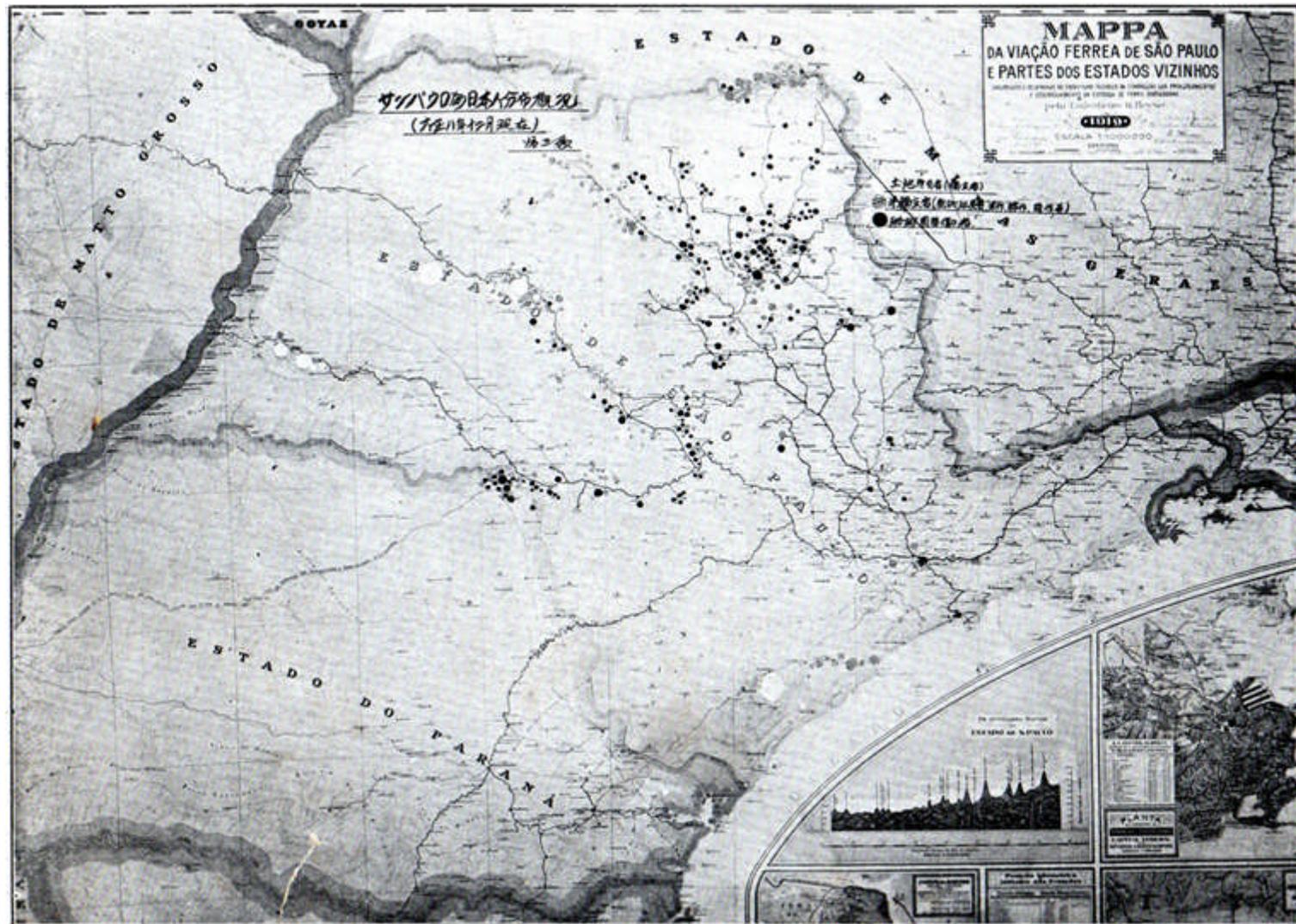
弟子國伯るるらへ教に人本日



隈部三郎氏のお嬢さん方

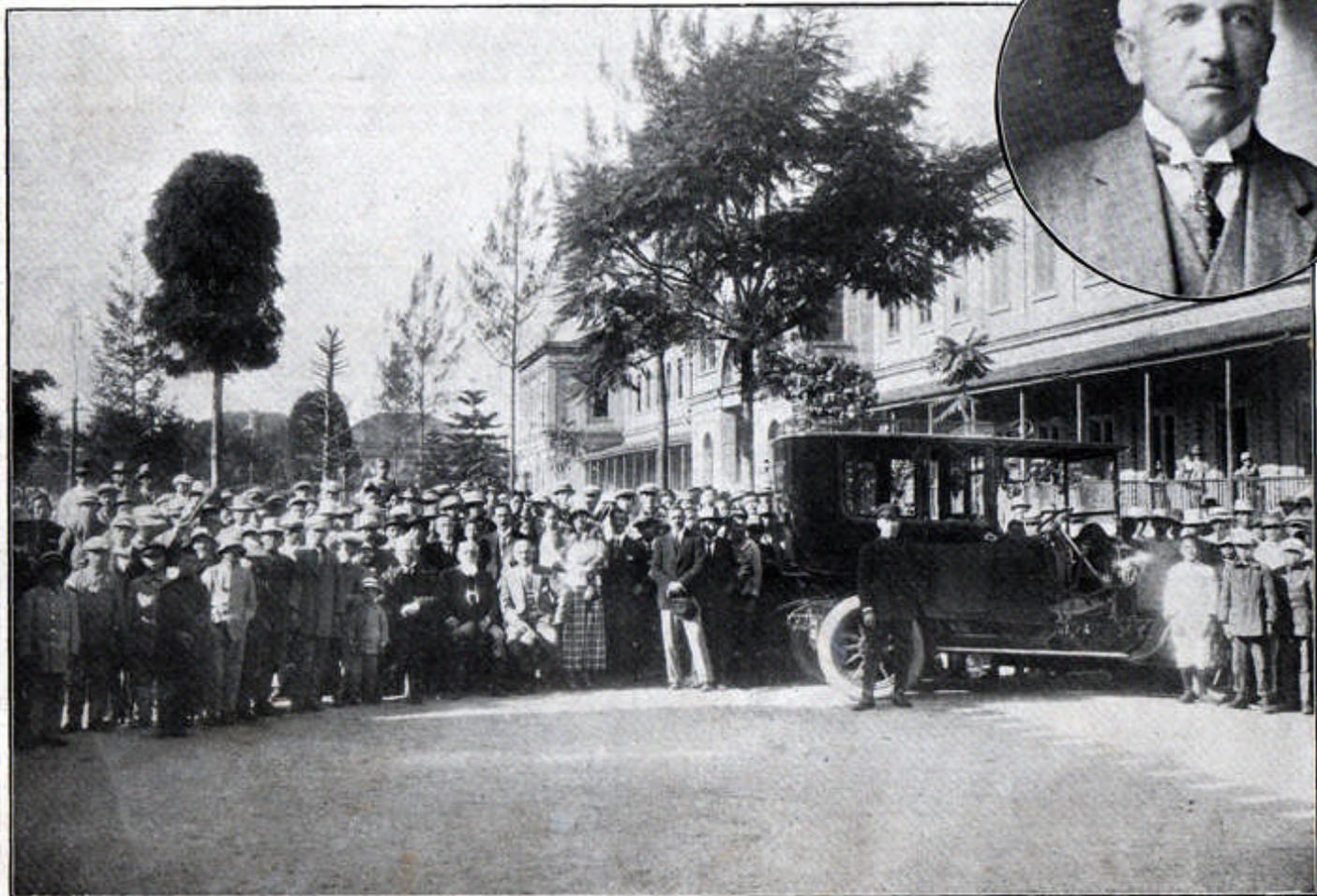
Estudiantes Brazileiro

Senoritas Kumabe



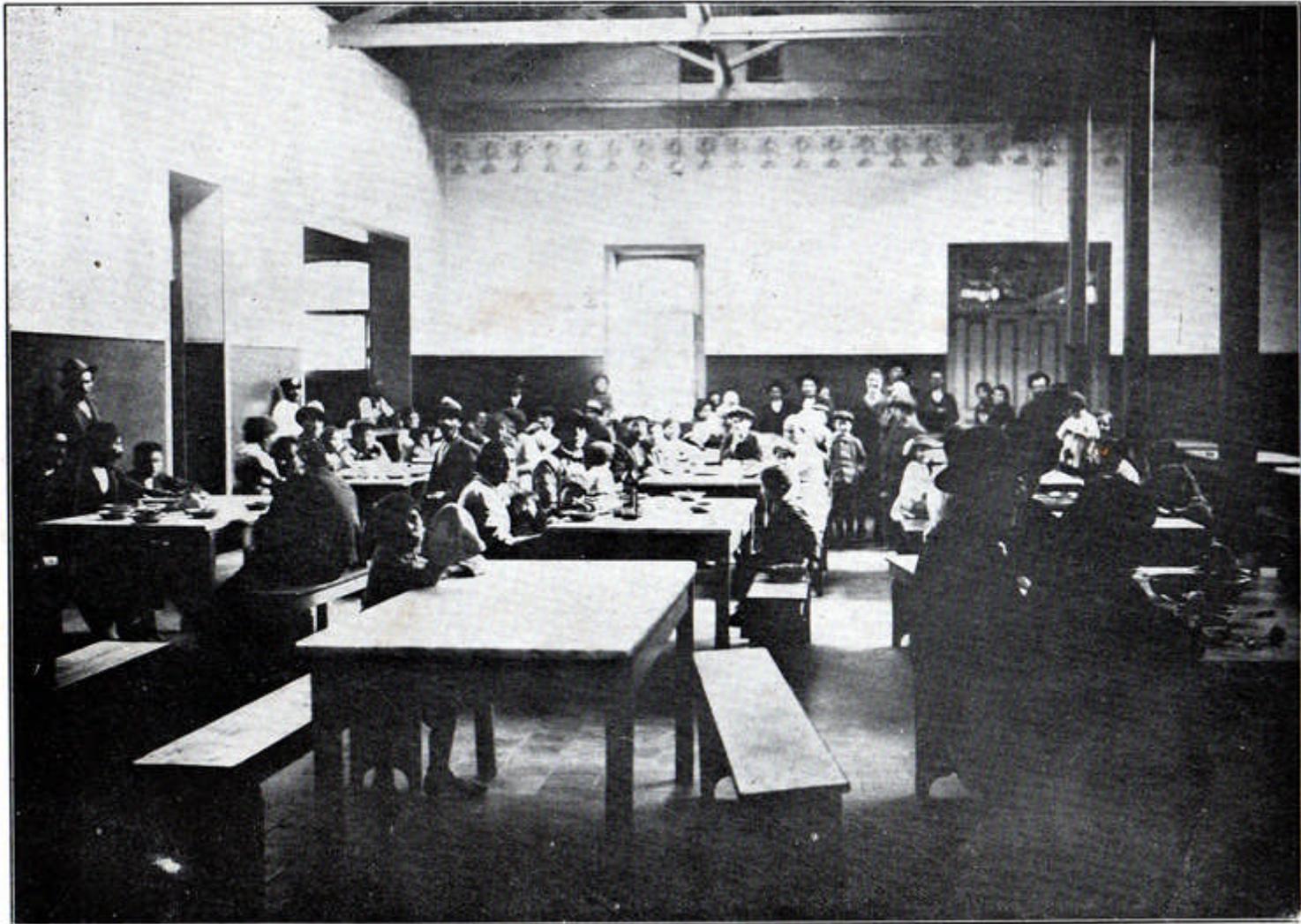
Japonez no E. de Sao Paulo Brazil

所 容 收 民 移 州 聖



サントス港から移住者は皆サンパウロ市の移民收容所に来る。汽車賃も宿泊費も皆聖州の負擔で其上此州では家族移住者一人毎に十五磅宛の渡航費補助がある。(右上)は收容所長。

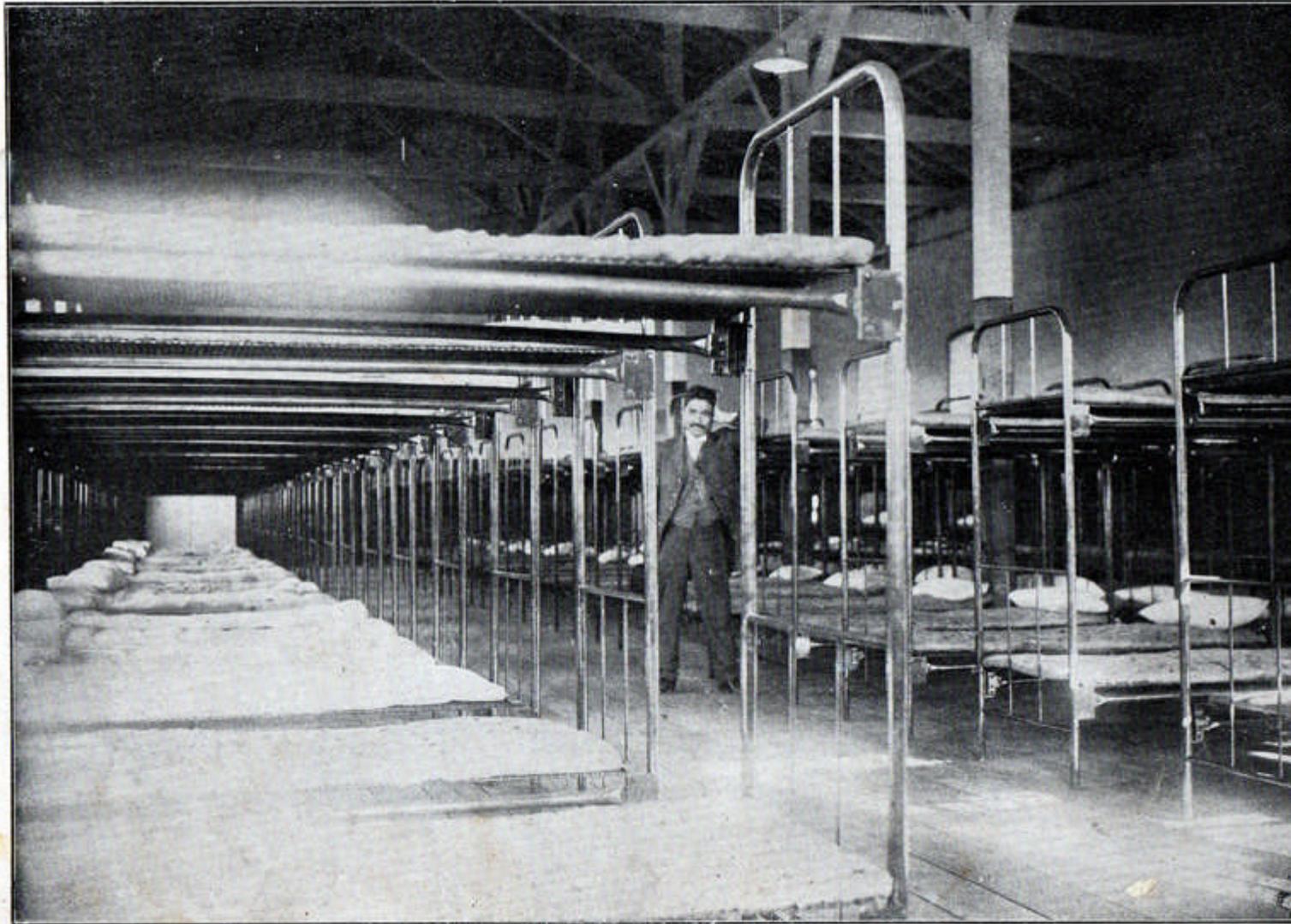
Immigração de Sao Paulo e Sr. Ferraz



食堂は一時に一千人の會食が出来る。大理石の食卓の上で各國の人々と共に伯利亞爾の御料理を頂くのです。

Immigração de Sao Paulo Brazil

移民收容所には一時に四千五百人を宿泊させる事が出来る。寢臺が二階になつて居ります。寫眞は著者參觀紀念。



Immigração de Sao Paulo Brazil



天長節の祝賀會の寫眞です。中央に正装して居るのが野田領事、公使館の書記官日本一の南米通で、「南米の寶庫」と云ふ名著がある。今日の總領事は藤田敏郎氏だ。

Noticias do Brazil

3 de Outubro de 1919 NO. 106

號六百第 日曜金 日三月十年八正大

伯刺西爾時報

伯國紹介
特別號

特別號發刊の辭

特別號を發刊するから云ふて、何も殊更ら吹聴するの要もない譯であるが、ごちらか云へば、日本人は悪口

て、伯國は世界の大富源國、此の世の樂園とは云へ、働かねば富も幸福も得られない半開の農業國なれば、勢ひ意者には不平不満が無からざるを得ないが、さりさて自分の誤てる考へにて伯



べきことである。例へば現在吾々の居る伯國にしても吾々の出稼地とし、殖民地として、殆ど理想に近いと云ふて可いにも係はらず、自分の遺方の思しきを標に上げ、やれ思ふ様に金が貯らぬの、やれ取扱ひが氣に食はぬの、八ツ當りに當り散す者も事賈すなくない様であるが、何事も心の持方一つで癪に障ると思へば夏時木の下で晝寝してゐても、風の吹き様が氣に喰はぬものである、まし

特別號にて盡し能はざるは讀者の諒せらるゝ處なるが故に、今回は單に伯國の州「サンパウロ」を舞臺とし、我が同胞の珈琲園に將た殖民地に、如何に大なる希望を抱いて、天與の恩恵に浴しつゝあるかを、事業の上に證據立て見たに過ぎないのである。尙夫、伯國全部に亘つて同國が有する大富源と、開拓の方法とに至つては、乞ふ今後重ねて發刊する、本紙特別號に據つて會了せられんことを。

社長黒石清作君 圓満なる人格と道徳的主張のもとに伯刺西爾在留民の指導に任じて居る。



黒石君は北越の茂草稻田に學び北米合衆國に於て多年移住地の經驗を有す。新たに伯刺西爾に移住する同胞の忠實なる友人として努力す。令嗣惣子女史、長男誠男君、長女清子嬢、平和圓滿なる家庭。



伯利亞爾在留日本人數三萬五千。其內六千人は未丁年者、小學校が十二あり、二百八十の生徒が就學して居る。此寫
眞はサンパウロ市で宮崎信三君の積極的努力に依つて經營されて居る。在外子弟の教育の爲めに祖國の大なる後援を
要する。

Taisho Shogako Sao Paulo Brazil

青柳郁太郎君

移民組合と海外興業の幹部諸君



邊孝君。シヨアジ、コンセンソソ君。

森岡移民會社員 石原昌榮君。

海外興業會社支店長 青柳郁太郎君。社員 小倉小次郎君。原口七郎君。

事務員 明徳梅吉君。 嶺昌君。 原比久猛徳君。 志賀伊之助君。

移民組合支部長 山田楊之助君。 同副支部長 森英三君。



Iminkumiai e Sr. I. Awoyagi

支店長岩間勉大君。店員長尾喜樹君外諸君。日本品東洋雜貨を盛に販賣して居る。



Nippon Boeki e Cia. Caixa Postal 1714 Sao Paulo Brazil

藤崎商會 羅倫市支店

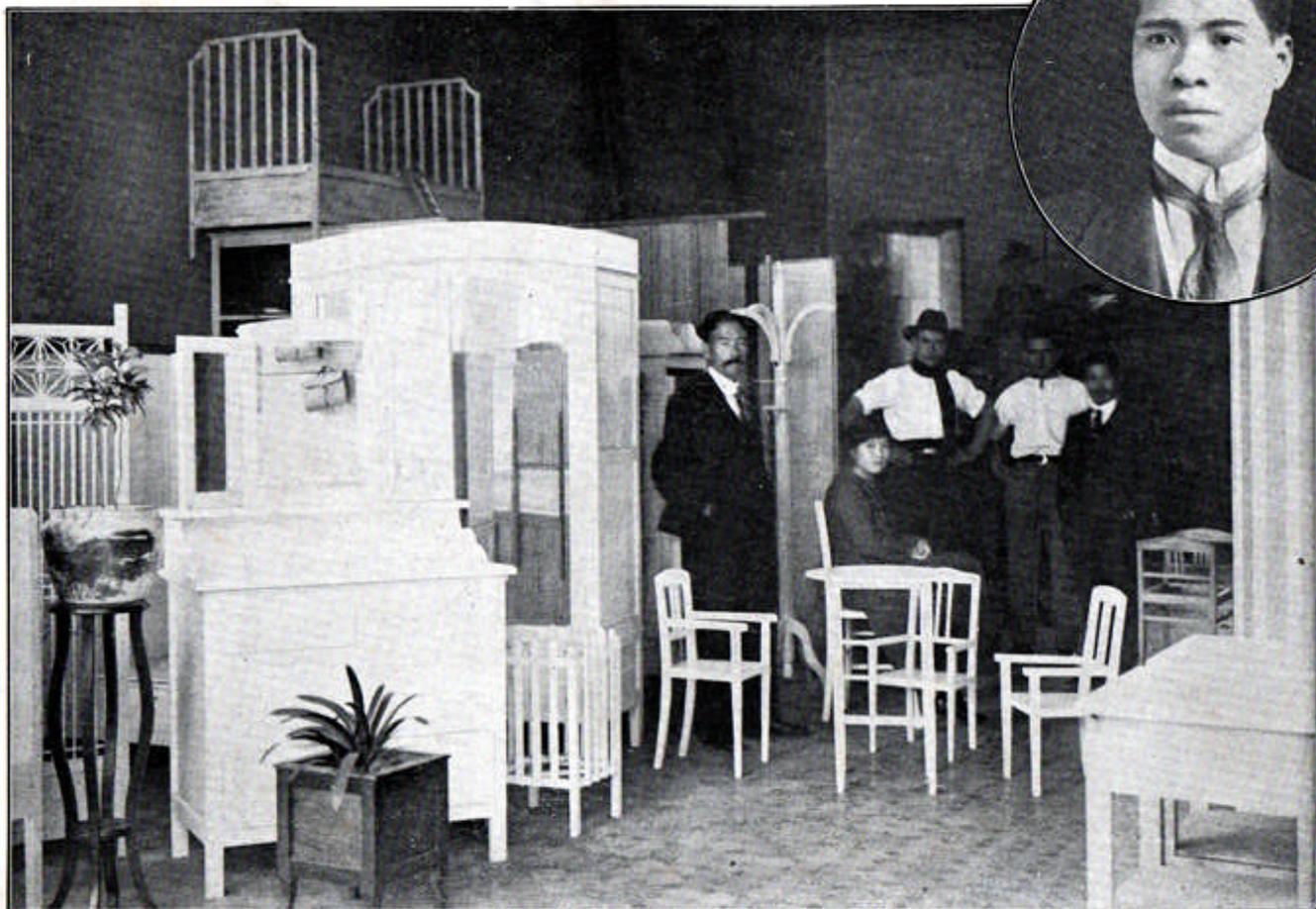


支店長 熊坂清四郎君。店員 山田實治君。長谷川末吉君。



Fujisaki e Cia. Rua Sao Bento 68-A Sao Paulo Brazil

カザール日本主吉田之進君

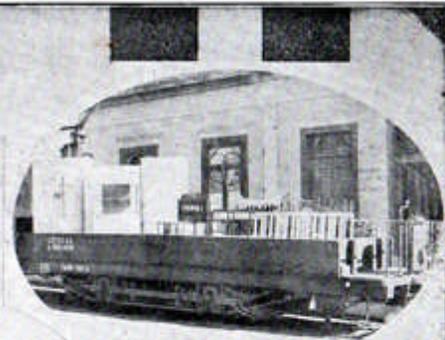


船島縣双葉郡大塚村出身。大正三年渡航、サンタペルドラヤナ耕地に二ヶ年労働、サンゴーロ市に出て資金を蓄へ獨力家具商を經營、使用者十二名。

"Casa Japonez"—Sr. Yoshida Rua Consulacao 42 Sao Paulo Brazil

君郎五芳木杉主京東ザーカ

富山縣水見郡阿尾村出身。一九一三年渡伯。同十七年開店。家具店の経営をして居る。



FABRICA DE MOVEIS
CASA TOKIO
Rua Barão de Itapetininga, 20
Teleph. Cid. 3537 - Caixa Postal, 1005
SÃO PAULO



Sr. Sugimoto

秋田縣雄勝郡横塚町。大正六年六月伯利亞爾に渡航し此國の特許醫として日本人の診察に従うて居る。



Dr. S. Takaoka e Familia

岡本龍太郎君

原籍高知縣高岡郡浦の内村。明治四拾三年渡伯。建築請負業。食料品販賣店經營。



Sr. R. Okamoto Sao Paulo Brazil

石井真館主石井一歩君

原籍東京市牛込區市ヶ谷仲ノ町で此寫眞は令問の撮影する所だ。



Sr. I. Ishii Sao Paulo Brazil

總領分館主任多羅間鐵輔君



多羅間鐵輔君(左) 同令閨(左下) 坂元端君(右) 婢(右下) ガーイ綠川(中)



Sr. y Sra. T. Tarama, Brazil

移 民 組 合 出 張 所



坂元靖君



Sr. Y. Sakamoto y Riberao Preto Brazil

所長坂元靖君「土塵が多い」と不平を云ふ移住者の前で、一握の土を飲んで「これでおれが死なずば安心して努力せよ」と、移住者を激励して居る。イメロン・プレートは日本移民の中心地。

イメロン市

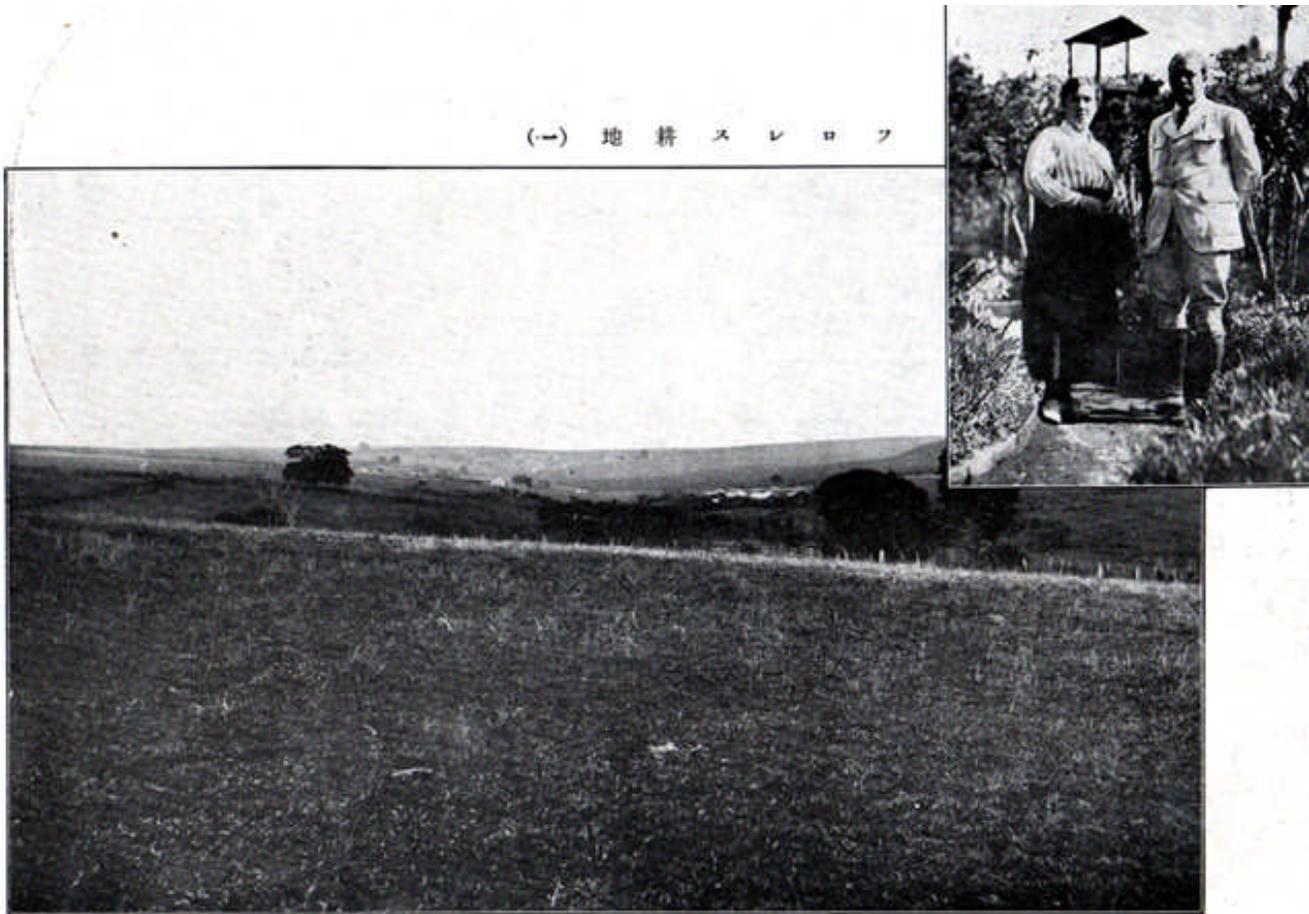
事務所



Iminkumiai

(一) 地 耕 ス レ ロ フ

(右上) フランシスコ・ロレンタイウ・ア・オリゲイユウ氏夫妻
レスの遠景
(左下) ファセンダ・ダス・フロ



Fazenda Das Flores (1) e Sr. Esra. F. J. De Oliveira

(二) 地 耕 ス レ ロ フ

此耕地の面積（一千二百町少）珈琲の産額數萬袋の外に盛に牧畜をやつて居る。（右上）珈琲の乾燥場
（左下）牧牛。日本人の労働者約五十家族。



Fazenda Das Flores (2) Est. Cravinhos Sao Paulo Brazil



白井仁介君は廣島縣安藝郡本庄村宇押込の人。早くより此國に渡航して勤勞不撓、フロレス耕地の總支配人たり。本人にして耕地の總支配人たる、君を以て嚆矢とす。令聞又葡語をよくし、令息等は學校の成績常に優等。日

Sr. K. Usui e Família Est. Cravinhos Sao Paulo Brazil



箕原君は福岡縣筑紫郡席田村出身。大正二年渡航、珈琲園に労働する事六年、今や三拾町歩の珈琲園とアレシオン植民地に五十町歩の土地を所有す。日本人にして珈琲園を所有せるは君が一番始めだ。

Sr. I. Minohara Est. Villa Bomfim Sao Paulo Brazil

君尾虎澤半人配支地耕ムキアロジ



半澤君は宮城縣の産、外國語學校出身。轉主シヨアキム氏の力行主義と意氣投合し在勤七年。此耕地にも日本人が澤山居る。

Fazenda de Joaquim P. Correa e Sr. T. Hanzawa Sarandy S. Paulo Brazil



大正八年十月創立。コンキスタダ郡在留日本人米作者を以て組織し食料品日用品等を販賣する商店を有し將來産業組合の各部に向け發展せんとす。寫眞は創立祝賀會紀念。ミナスの米作に従事する日本人約六百家族。

Syndicato Agricola Conquista Minas Geraes Brazil

君は山口縣厚狭郡吉都村に生れ外國語學校を卒業して渡伯。日伯産業組合長として犠牲的努力をして居る。



Sr. S. Fukukawa Conquista Minas Geraes Brazil

池 岡 鶴 松 君



池岡君は廣島縣安藝郡仁保村出身。大正二年渡伯國八年からミナス州の采作に従事す。家族九名雇人三名伯國の老農だ。

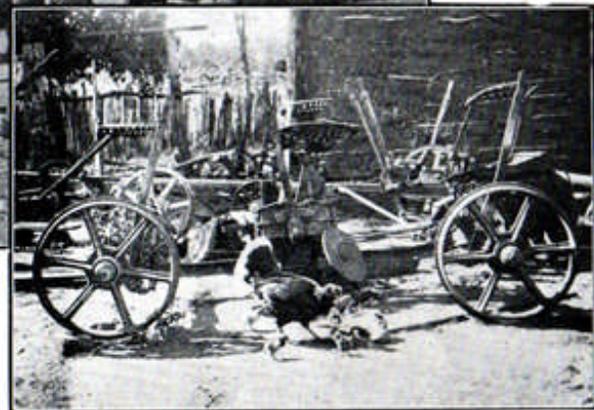


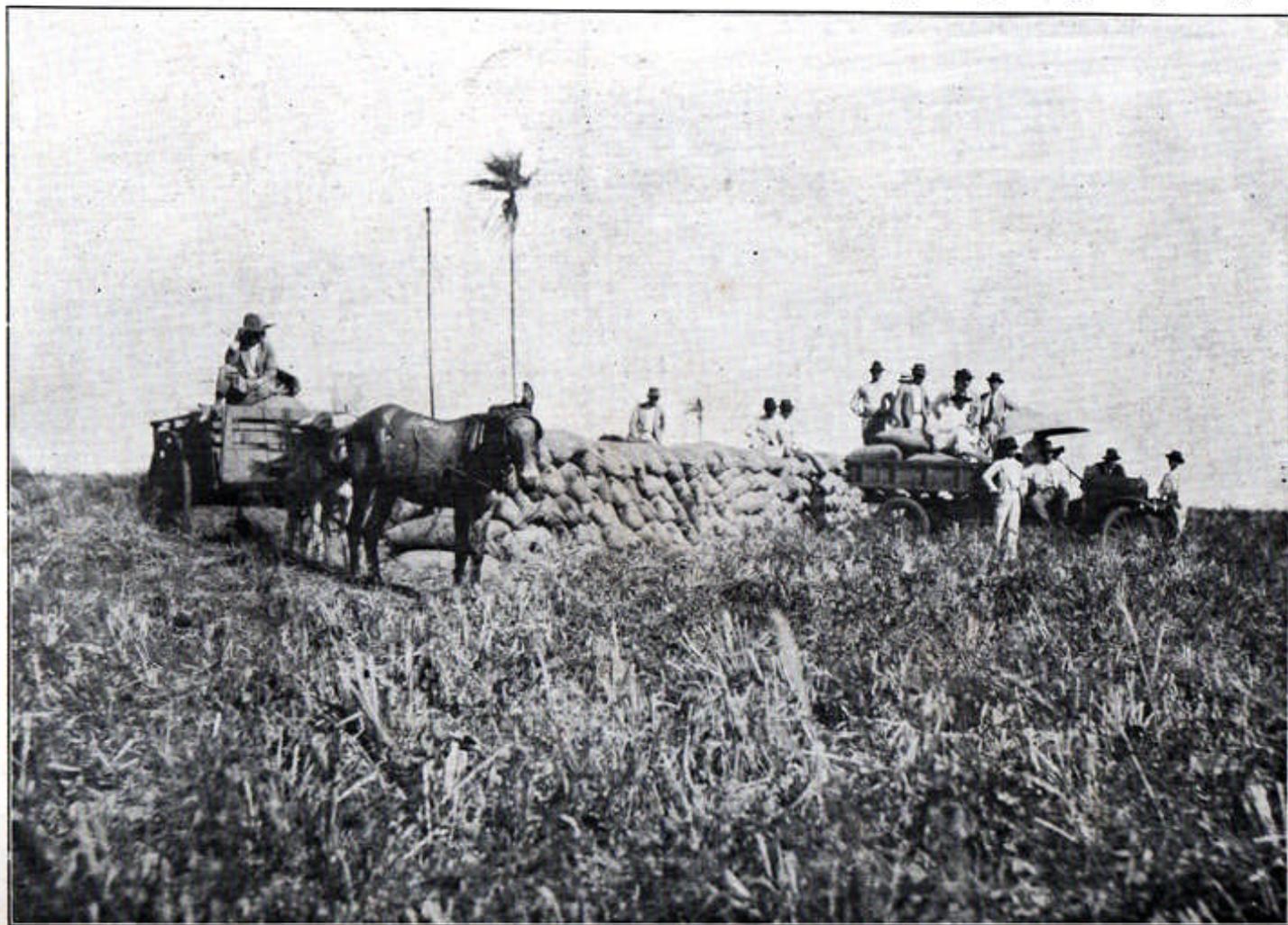
Sr. T. Ikeoka e Rio Grande Conquista Minas Geraes Brazil



稲田新三君は熊本縣八代郡有佐村出身、明治四拾五年渡航、大正五年より本件に従事す。君はグランデア川に二百五十
俵積の日本船を浮べた第一人者だ。

Sr. S. Inada Conquista Minas Geraes Brazil





間弓君は廣島縣世羅郡津名村出身、明治四拾五年渡伯、大正五年ミナスの米作地に入る。運搬用自動車を使用し、其生産米を停車場に送つて居る。家族六人。

Sr. G. Mayumi Conquista Minas Geraes Brazil

山中常藏の一族



廣島縣安藝郡仁保村出身。大正二年渡航、大正六年カンバラに來たり一族十二名同心協力米作畜産、珈琲園を經營す。

Sr. T. Nakayama Cambara Minas Geraes Brazil

菅 田 正 數 君



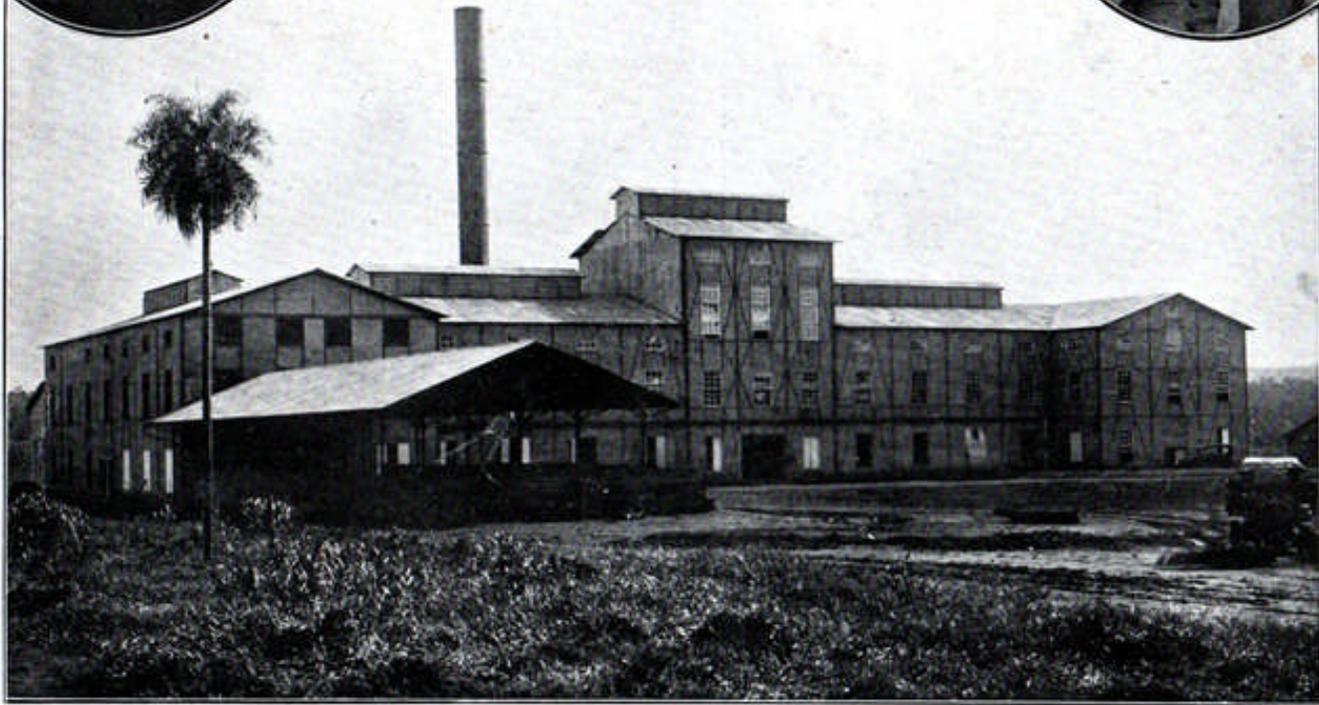
石橋君はミナス州ウヱラバ市畜産課技師でヴァルデヨンの土地の飼養者。
菅田正數君は伯國で五人ある日本特許醫の一人で移住地の衛生事務に參與し兼ねて富國の風土病を研究して居る。

石 橋 恒 四 郎 君



Dr. T. Ishibashi e Dr. M. Sasada Delta Minas Geraes Brazil

地 耕 ド ル ラ グ ・ ソ ン サ



此官眞の製糖所は聖州に於ては有名なるもので一日に十六貫入りの精糖六百袋を製出する。各耕地共皆日本人が勞働に從事して居る。

支配人である。

ガエンクイラ氏はは聖州内に拾數個の耕地を有する有力者でありカイロス君は其總

Dr. Carlos Pinto

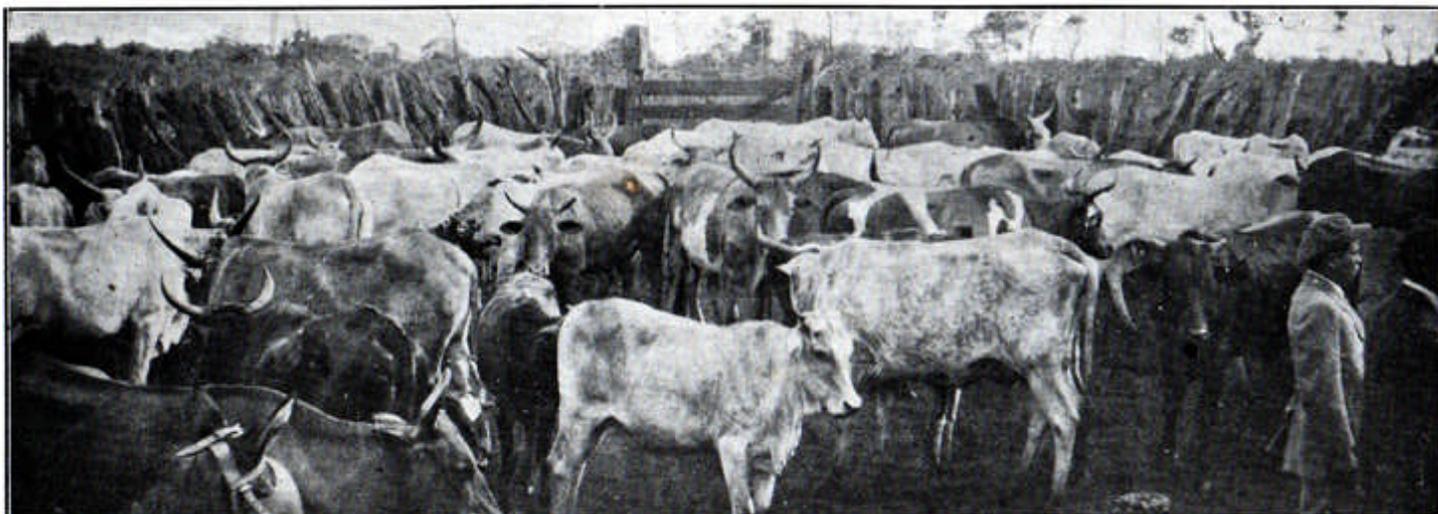
Fazenda Sao Geraldo

Coronel Francisco M. Junqueira

吉瀬軍平君は福岡縣浮羽郡大石村出身、大正元年渡航、同四年富耕地に來たりケランテ川の一島に米作を試みて居る。米數千俵の外に魚が三十俵取れたと云うて居た。



Sr. G. Kichise Igarapava Sao Paulo Brazil



福岡縣田川郡川崎村に生れ多年軍隊生活をなした後明治四十五年渡航して此耕地に入る。耕地は訴訟事件で永い間労働賃金が支拂はれなかつたが一意専心に耕地の爲めに働いた。今では甘蔗の歩合耕作の外に同志と組合で二百餘頭の牛を持つて居る。令妹は伯利西州人と結婚し一族皆健全だ。

Sr. K. Yatsuda—Igarapava Sao Paulo Brazil

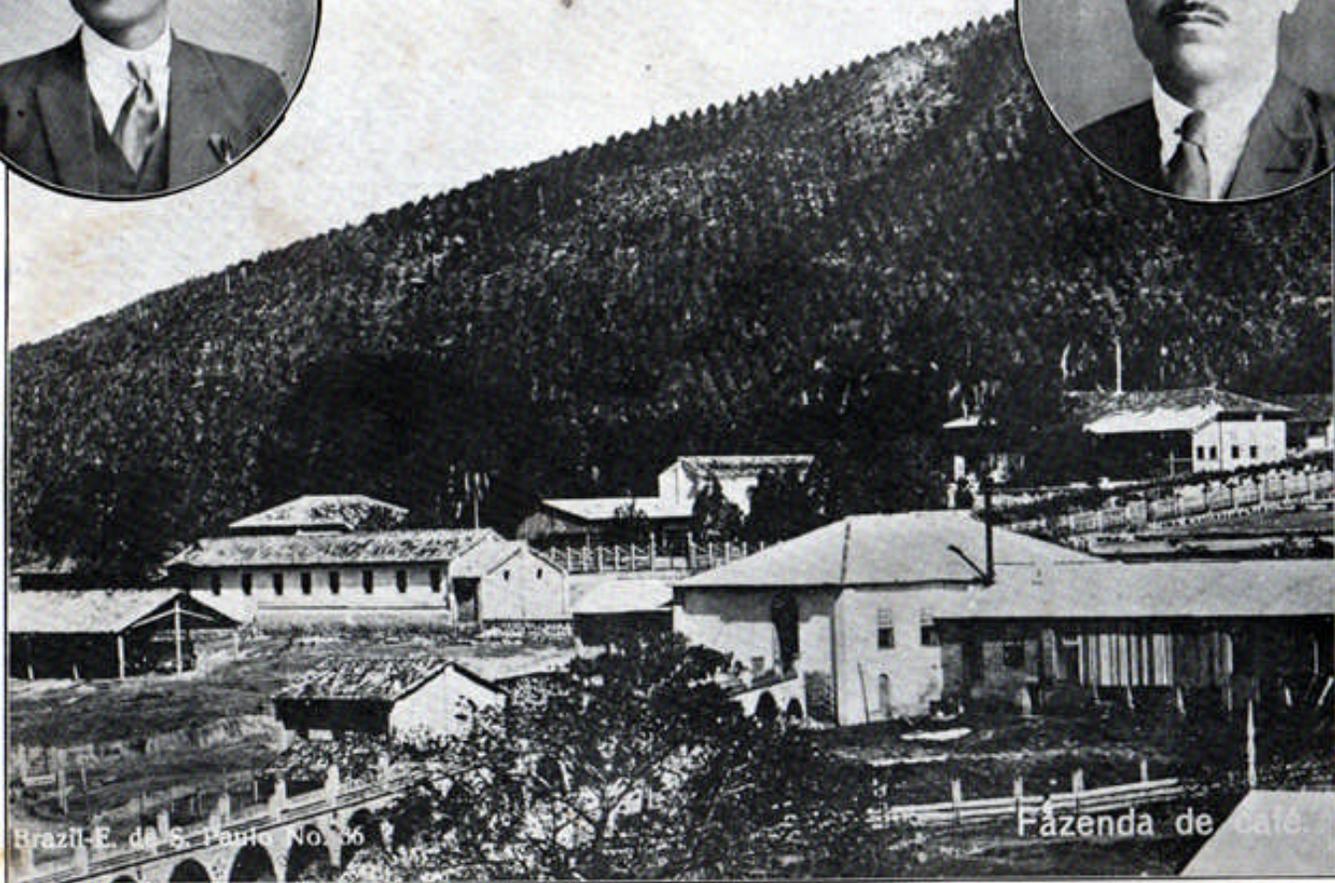


山口縣厚狹郡吉野村生、外國語學校出身、大正三年渡米、ダアルゲアレンソン許地の總支配をなすと同時に親族達とミナス河畔に宏大な米作地を經營して居る。藤然君の弟。

Sr. I. Fukukawa-Igarapava S. Paulo Brazil



君 馬 秀 田 弘



爲め幼朝中であつた。

高知縣幡多郡三崎村字斧根出身、明治四十三年渡伯以來現在のグロウキバラ耕地に活動し此の耕地の通譯をなすと共に茶作をして居る。父上の千代太氏は専業擴張の

Sr. H. Hirota-Guatapara Sao Paulo Brazil

社 會 民 植 材 木 地 土

會社は聖州に宏大なる土地を所有し其の一部に日本人約五百家族入植し所謂ビリゲイの日本人植民地を建設す。支配人クラーク氏は此地に三十八年間生活して居る。



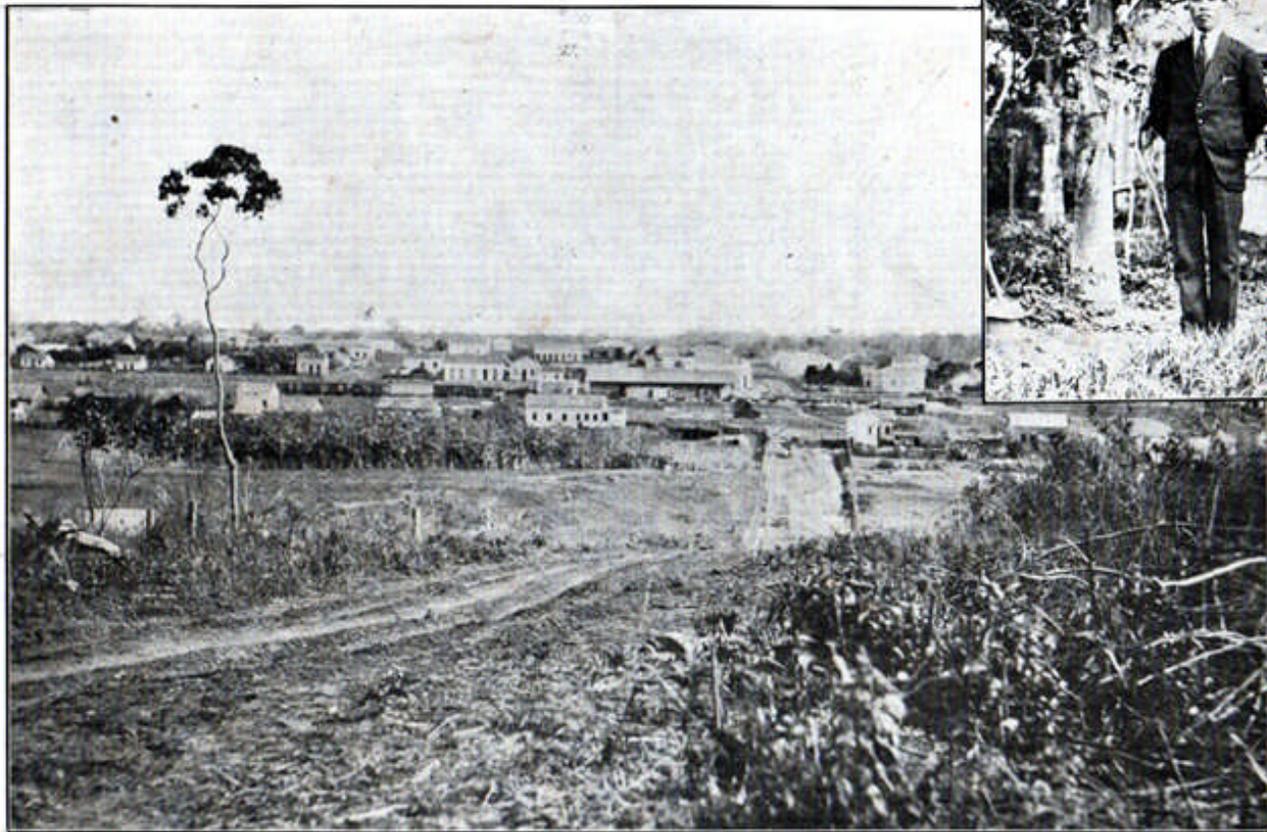
Mr. Robert Clark & His Families

Land Lamber & Colonization Co



Ofiice Biniguy S. Paulo Brazil

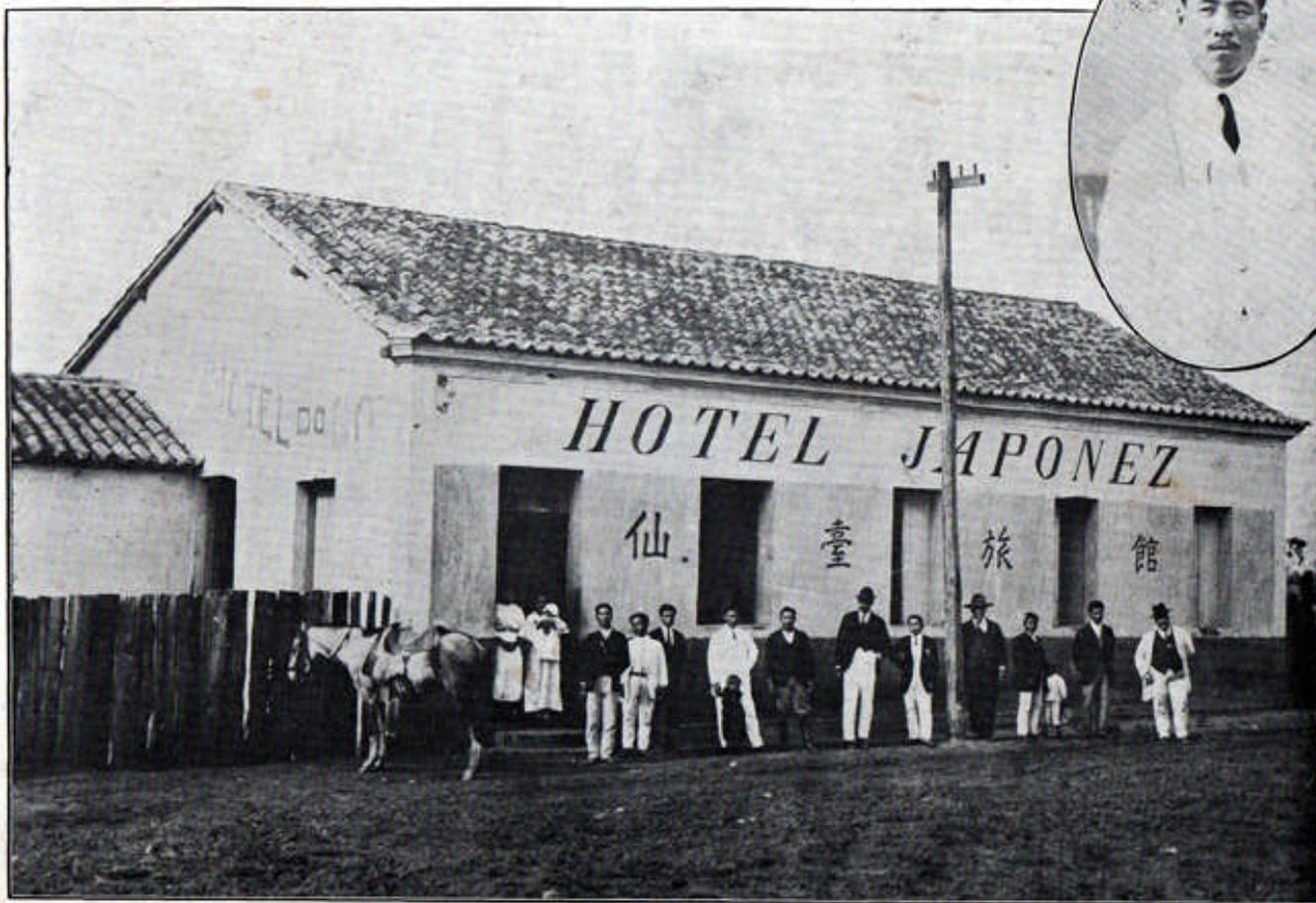
英人社会日本代理人八崎宮君とピリグイ町



宮崎君は佐賀縣三養基郡中原村生爾西學院を出て大正二年渡伯廿八歳の青年、現に五十町歩の土地を所有し英人會社日本人部代理人としてピリグイ植民地建設の盟主たり。

Biriguy e Sr. H. Miyasaki Biriguy S. Paulo Brazil

仙 臺 旅 館 主 佐 藤 謙 治 君



宮城縣柴田郡沼澤村出身、大正三年渡航同五年には五拾町歩なびイグイ植民地に購入し珈琲米綿の栽培をなし
大正九年市街地に仙臺旅館の經營を初の一般視察者に便宜を興へて居る。

Sr. K. Sato—Biriguy S. Paulo Brazil

會員三十四。在留同胞の中堅たるの目的を以て圖書館の設備あり。開拓雜誌を發行す。



Seinenkai-Aracatuba S. Paulo Brazil

鏡ヶ江藤大郎君



Sr. T. Kanegae



Biriguy S. Paulo Brazil

佐賀縣杵島郡須古村出身、大正元年渡伯國ヶ年間轉地に活動の後、ヒキケイに土地を購入して入植、珈琲、米、綿豆を耕作す。
此植民地のパイオニアである。

君 八 儀 原 貝



佐賀縣杵島縣六火町村出身。草分けとなつてピリゲイ植民地に入り、土地を購入し、珈琲を植ふ、其他の作物を耕作し、後進者を指導して居る。

Sr. G. Kaihara Biriguy Noroeste S. Paulo Brazil

一ノ瀬勘助君



佐賀縣杵島郡大町村出身、大正二年渡航、大正五年五拾町歩を此植民地に購入し珈琲、米、綿、甘蔗等を採裁し蕭々並展して居る。

Sr. K. Ichinose Biriguy S. Paul Brazil

千 原 本 吉 君



福岡京都都節丸村出身。明治四拾五年渡航三ヶ年間耕地に奮闘し資金を貯蓄しピリグアイ植民地に百町歩の土地を購入し第一の入植者として開拓に従事し珈琲を主として米類の栽培、養豚を副業とす。

Sr. M. Chihara-Biriguy S. Paulo Brazil



(右) 耕地三百七拾五町歩の一部 (右) 十六貫の砂糖一日三噸俵を製出する工場の一部 (左) 組合長 山根君の家族、資本六萬圓。二十一家族の共同事業にして和衷協同日本人組合の模範を示して居る。入植後四ヶ年日。



Sr. Yamane E Cia-Biriguy S. Paulo Brazil



福岡縣築上郡八屋町出身。大正元年渡伯大正四年七拾五町歩の土地をビリグイに購入、珈琲、綿、米等を栽培す。該植
民地最初の入植者にして幾多の辛酸を嘗め清々成功の域に進んで居る。

Sr. J. Ujino-Biriguy S. Paulo Brazil

高橋善七君、福島縣安達郡針道村。安戸敏行君、埼玉縣秩父郡櫻川村エトレッジル市街地にて旅館と商店とを共同經營して居る。



Yasudo e Takahashi Cia-Heitor Legru S. Paulo Brazil

君平周塚上者設建地民植一ミロコタイ



帝大法科を卒業すると生家へも寄らずに伯刺西爾に行つた。同志と共にエトロゲル一附近にイタコロミ植民地の建設をした。市街地の經營、公園の設備から小学校や青年會に至るまで伯刺西爾の日本人間では最も進歩した理想が實現されて居り人物も一番洋山に居る。



Nucleo Itacolomy e Sr. S. Uyetsuka-Heitor Legru S. Paulo Brazil

君 郎 次 貞 木 鈴



(右上) 鈴木君夫妻
(左上) 植民地遠景



(右下) 密林開墾着手
(左下) 植民の假小屋



秋田派出身。早稲田文科卒業、飄然として伯利西爾に來り日本人のモデルとなつて珈琲園に勞働、其報告に依り日本移住者が此國に渡航する様になつた、伯利西爾のバイオニアだ。アマゾン河の探検後、上原君等と共同してイタコミ植民地の創設に多年の蘊蓄を傾注した。

熊本縣出身。明治四十一年新嘉坡特設地獄備後成行となりモンソン植民地に土地を購入し更にイタコロニーに轉じ商業方面に發展して居る。



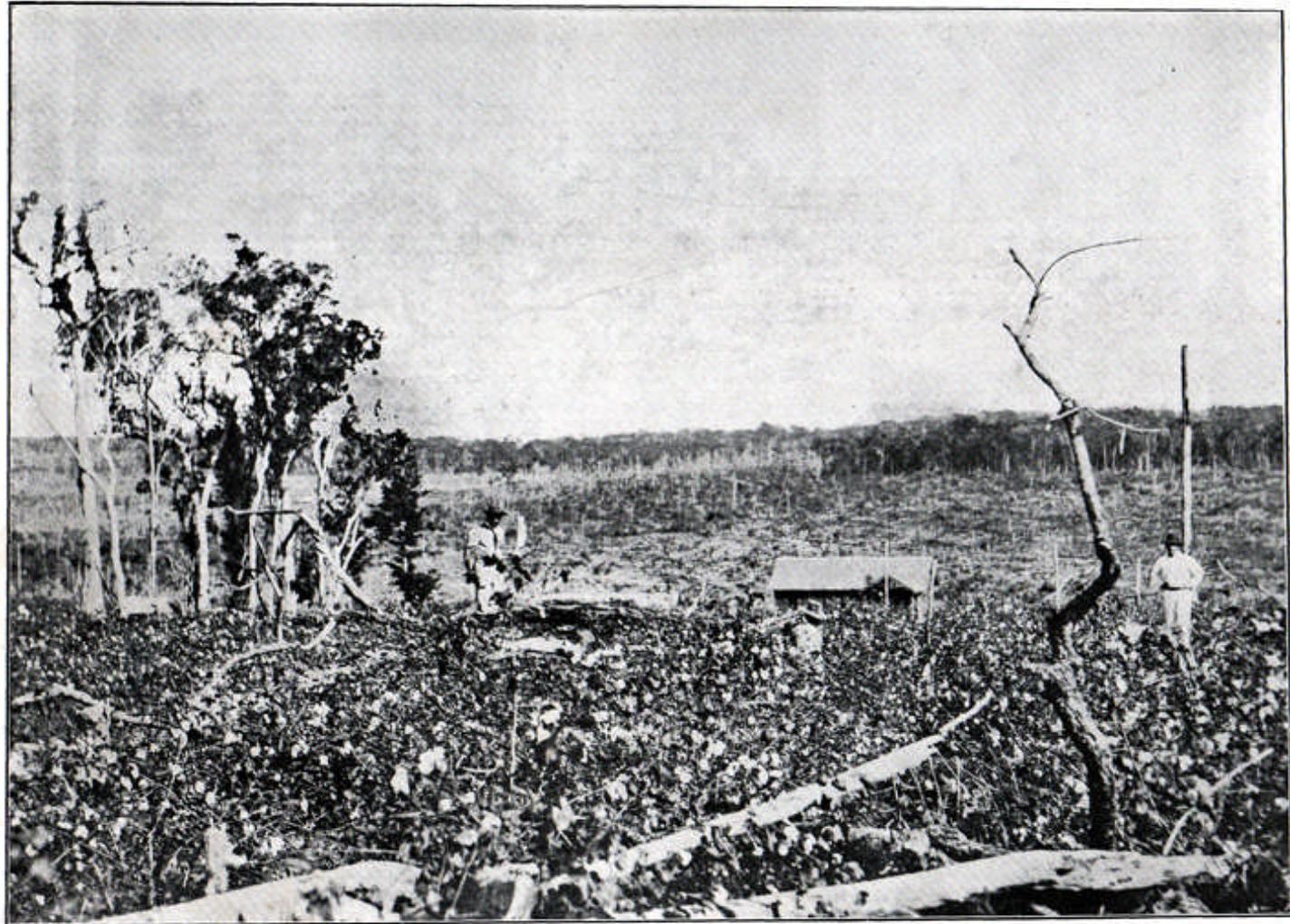
Sr. T. Murasaki-Heitor Legru S. Paulo Brazil

第 三 兄 弟



張本健五名也御宮村出身。妻太尾、正記、末節の三兄弟一姉の四人家族。イコロロミ！植民地家族の入植者で所有地百廿五町歩、費用一萬三千円と牧場十八町歩ある。

Srs. Tsuzuki-Heitor Legru S. Paulo Brazil



熊本縣玉名郡大野村出身。長兄大藏君以下七人の男兄弟。大正二年三月渡伯、グアタバラ耕地からトレントヒサ耕地に轉じイタコロミ植民地に入りてより滿三ヶ年を経たり。

Plantacao de Algodon (Sakamoto) Heitor Legru S. Paulo Brazil

特作地百廿五町歩から米千三百俵、棉花六百俵、玉蜀黍牛車百益、豆百五拾俵を産し豚百頭と馬車が二臺ある。外に
所有の山林百廿五町歩。



Residencia (Sr. Sakamoto)

Criacao de Porcos



Heitor Legru S. Paulo Brazil



(右) 馬上の中川君

(左) マンジョカ

熊本縣玉名郡八幡村の人。大正三年渡航各地に活動の後、北濱民地に入植以來二拾ヶ月を経たるのみ。所有地五拾町歩、開墾地二拾五町歩、米五百俵、綿三拾アロバ、玉蜀黍牛車四台、マンジョカ半車二拾袋、カフエ一萬本。



mandioca

Sr. S. Nakagawa-Heitor Legru S. Paulo Brazil



伊藤君は新潟縣出身。北米合衆國に渡航し醫科大學を卒業し 伯國に轉航し慈善病院醫科大學等にて研究を計けた。
目下イタコロミー植民地で日本人の診療に従事して居る。

Dr. S. Ito-Heitor Legru S. Paulo Brazil



齊藤與吉君 熊本縣下益城郡宇富尾村出身。
井上松平君 熊本縣宇土郡鞍川村出身。
共同して五拾町歩を所有し咖啡二萬本の外、米と綿にて一萬三千圓の收入あり。

Saito e Inouye Cia-Heitor Legru S. Paulo Brazil

福岡縣浮羽郡舟越村出身。五拾町歩の土地を所有し米、棉、豆、甘蔗、玉蜀黍等を生産して居る。



Sr. S. Gytoku-Heitor Legru S. Paulo Brazil



福岡縣浮羽郡江南村出身。大正二年着伯、モシテアルト、サンマルチン等の耕地を継いで大正七年入植、所有地二拾五町歩、米、綿、豆、甘蔗、玉蜀黍等を栽培して居る。



(右) 新墾地遠望 (左上) 崎夫人と豆 (左下) 住宅
間崎君は高知縣幡多郡入野村出身。土原君等と共にイタコロミー植民地創設に參與せる一人にして事業は年々共に
進展して居る。

Sr. S. Mazaki-Haitor Legru S. Paulo Brazil

君 次 重 崎 國



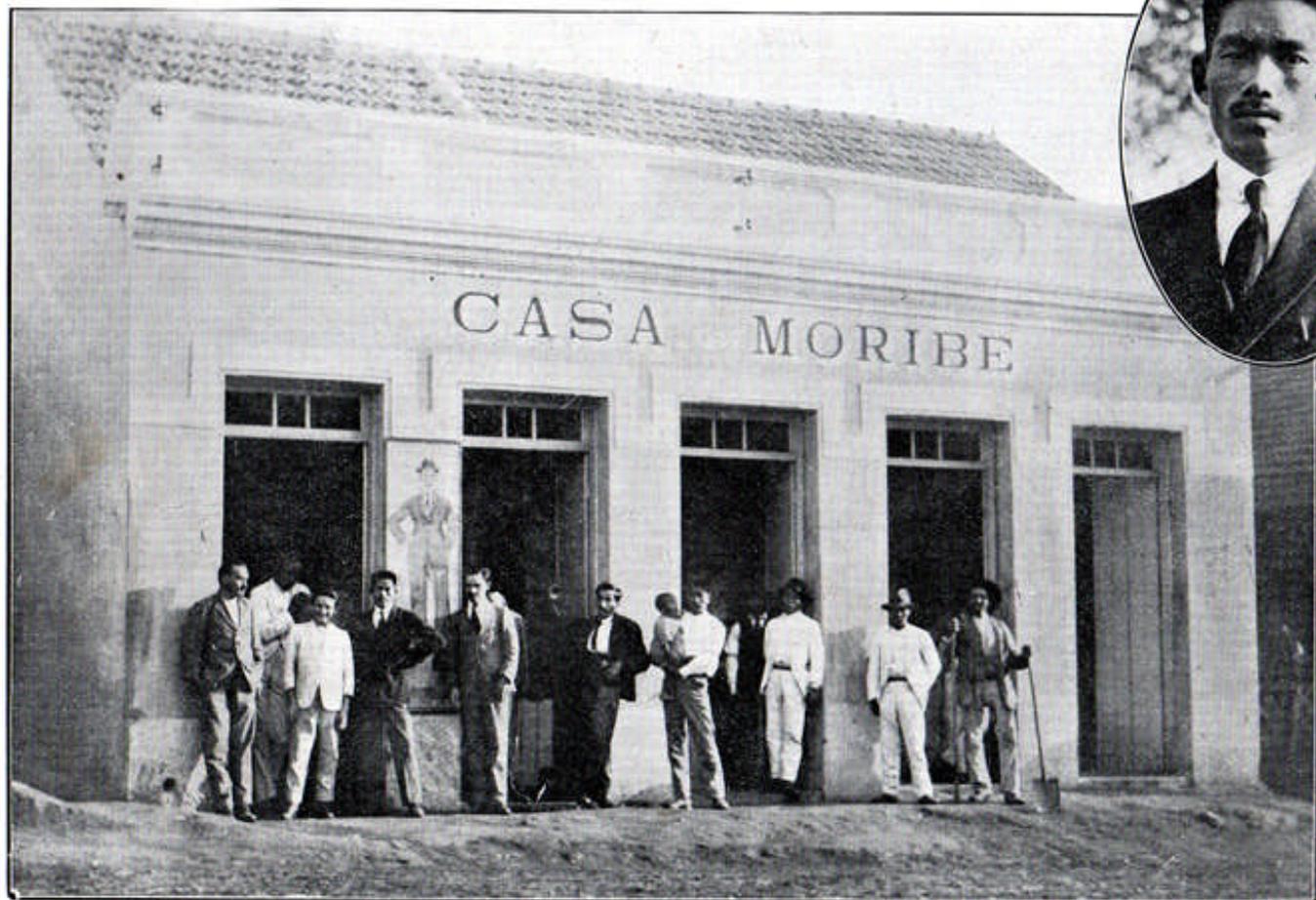
熊本縣玉名郡南郷町出身。大正元年渡航、サンタセシリア地で七ヶ年奮闘の後、大正七年イタコロミーに來たりオン
ザアカに商店の經營を開始した。

Sr. J. Kunisaki—Heitro Legru S. Paulo Brazil



山口三助君の自叙傳。明治四十二年渡航カピオン・パクショント入籍、同所本方彼地所人夫請負ノカキヤセト申候。モンソンの政府様式地等に活用の所
ノロニテ繰テ、カキヤセに申下且下種米所を有し、穀物買商として外人邦人間の様である。

君 衛 一 部 森



福岡朝倉大福村出身。始めリメイロンプレイト町に開店したるも後轉してアルブケルク・リンス町に來たり洋服部と
雜貨部とを經營して居る。

Sr. K. Moribe—Albuquerque Lins S. Paulo Brazil

上野 順吉 君



熊本縣玉名郡大野村出身。大正九年の生産物は總一千アロバ（時價十五コントス）茶三百俵（五コントス）豚五十頭で植付けた咖啡が一萬九千本。

Sr. J. Uyeno—Albuquerque Lins S. Paulo Brazil



熊本縣上益郡六ヶ嶺村出身。明治四十三年渡航しトレドローサ耕地に六ヶ年間勞働し現在の植民地創設者となり日本人中最古最大の珈琲園を有す。大正九年度珈琲一萬二千本の外綿二百アロバ、米二百袋、豚四十の生産。

Sr. R. Fujinaga—Albuquerque Lins S. Paulo Brazil



熊本縣鹿本郡中富村出身。大正元年渡航其後當植民地に入り着々成功の域に進んで居る。所有地五拾五町歩、畑二萬六千本、糖八百アロバ、米二百六十俵、豆九拾五俵、豚三十。

Sr. M. Morotomi—Albuquerque Lins S. Paulo Brazil

大 田 久 次 郎 君

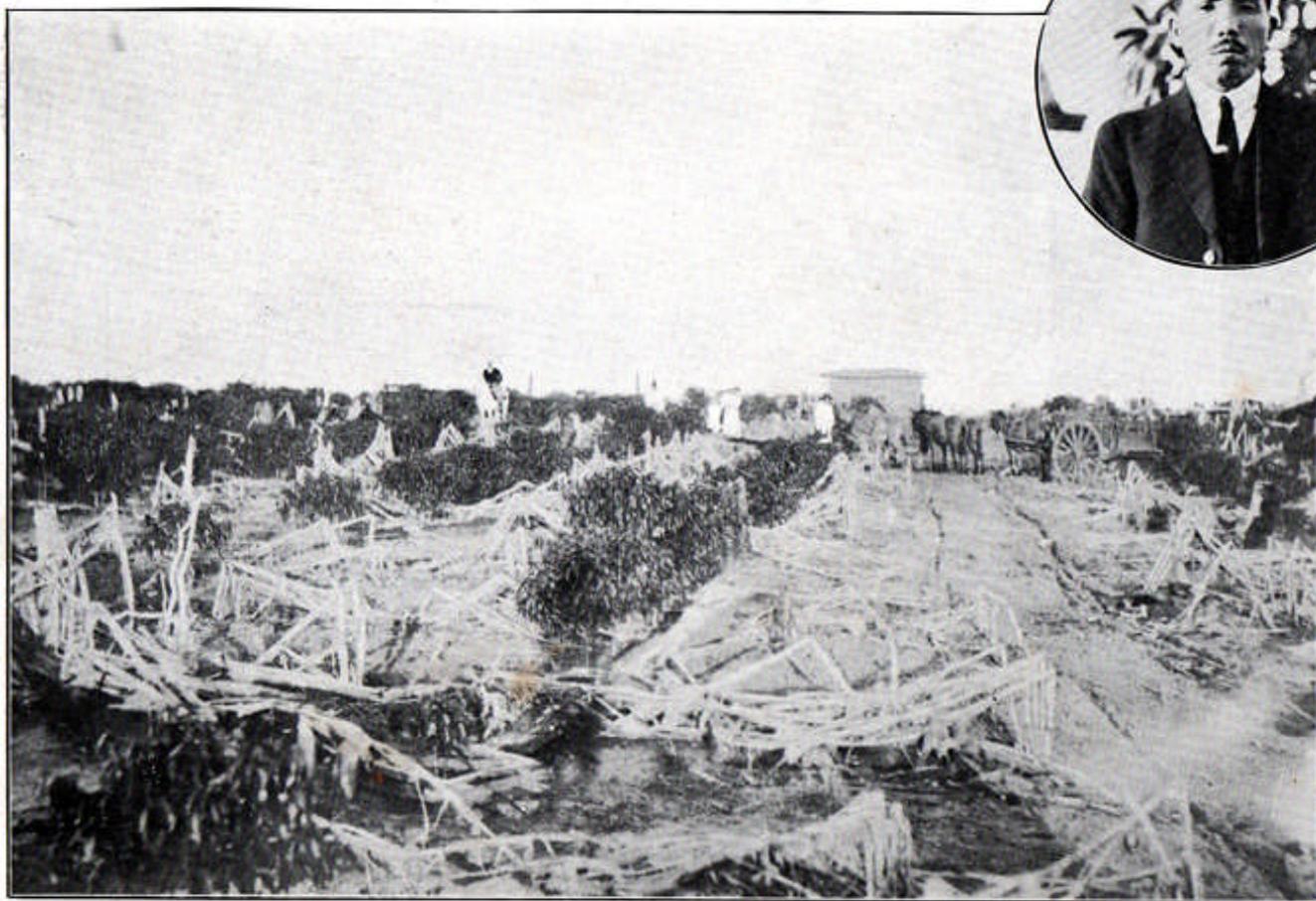


福岡縣浮羽郡川會村出身。大正三年五月渡航しスチンガ耕地より現在の血球請負經營に着手、リンス縣に土地と建物とを有し繁栄なる地歩を占めて居る。



Sr. K. Ohta—Albuquerque Lins S. Paulo Brazil

農 田 源 行 君



本籍地熊本縣葦北郡田ノ村。大正三年渡航、シヨアキム耕地を経て當地に轉じた。外國人間に最も信用があり、百廿五町歩の土地を所有し咖啡三萬本を植ゑ込んで居る。

Sr. G. Noda—Albuquerque Lins S. Paulo Brazil

君 松 幾 田 鐵



原籍熊本縣下益城郡隣の庄町。大正二年渡航してレドビーサ持地で四ヶ年活動して現在の植民地に來た。所有地三十町歩・珈琲一萬七千本。

Sr. I. Kuwada—Albuquerque Lins S. Paulo Brazil

中 川 キ ト 君

大正元年渡航トレドレーヤ耕地一ヶ年居つて現在の植民地に入り七町五段歩の土地を所有し一人の娘と母とで四千五百本の咖啡を植ふ綿や米を作つて居る。女丈夫だ。



Sra. K. Nakagawa—Albuquerque Lins S. Paulo Brazil

君 郎 次 喜 斐 甲



原籍地熊本縣下益城郡隈の庄町、大正二年渡航トレドビーヤ耕地から此植民地に来た。四十五町歩を所有し二萬本の咖啡を栽培し外に米や綿を澤山に收穫して居る。

Sr. K. Kai—Albuquerque Lins S. Paulo Brazil



藤本縣上益郡六ヶ嶺村出身。明治四十三年渡航してレドヒーサ耕地に六ヶ年間勞働し現在の植民地創設者となり日本人中最古最大の咖啡園を有す。大正九年度咖啡一萬二千本の外總二百アロバ、米二百俵、豚四十の生産。

Sr. R. Fujinaga—Albuquerque Lins S. Paulo Brazil



熊本縣鹿本郡中富村出身。大正元年渡航其後當植民地に入り着々成功の域に進んで居る。所有地五拾五町歩、珈琲二萬六千本、綿八百アロバ、米二百六十俵、豆九拾五俵、豚三十。

Sr. M. Morotomi—Albuquerque Lins S. Paulo Brazil

大 田 久 次 郎 君

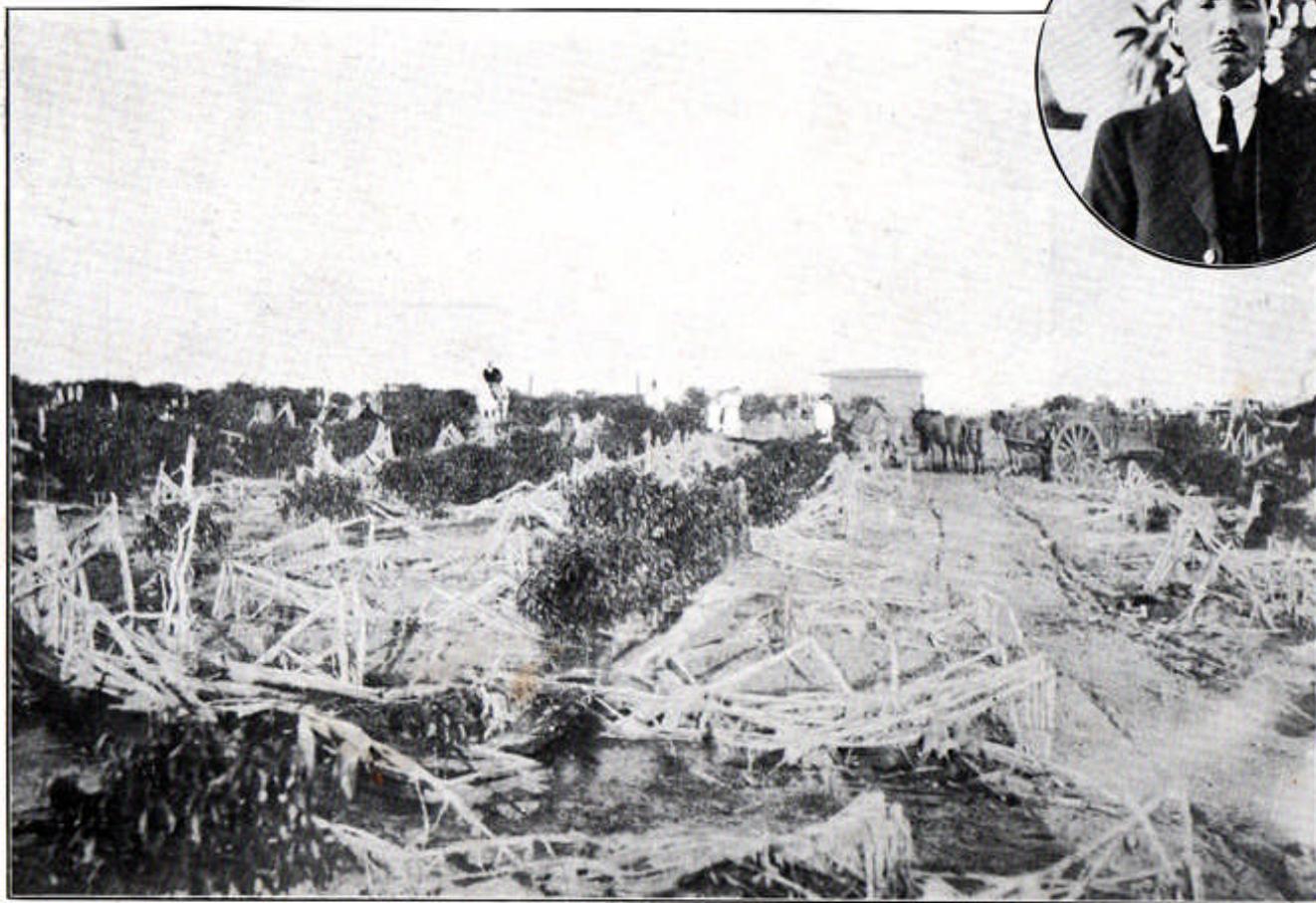


福岡縣浮羽郡川會村出身。大正三年五月渡航しスチンガ耕地より現在の珈琲請負經營に着手、キンス群に土地と建物とを有し繁栄なる地歩を占めて居る。



Sr. K. Ohta—Albuquerque Lins S. Paulo Brazil

農 田 源 行 君



本籍地熊本縣京北部田ノ村。大正三年渡航、ジョアキア耕地を経て當地に轉じた。外國人間に最も信用があり、百廿五町歩の土地を所有し咖啡三萬本を植ゑ込んで居る。

Sr. G. Noda—Albuquerque Lins S. Paulo Brazil

君 松 幾 田 嶽



原籍熊本縣下益城郡隅の庄町。大正二年渡航しトレドヒイサ耕地で四ヶ年活動して現在の植民地に來た。所有地三十町歩、咖啡一萬七千本。

Sr. I. Kuwada—Albuquerque Lins S. Paulo Brazil

中 川 木 子 君



大正元年渡航トレドヒ一ヶ耕地一ヶ年居つて現在の植民地に入り七町五段歩の土地を所有し一人の娘と母とで四千五百本の咖啡を植ふ綿や米を作つて居る。女丈夫だ。

Sra. K. Nakagawa—Albuquerque Lins S. Paulo Brazil

君 藏 重 田 綱

原籍熊本縣下益城郡隈の庄町、大正元年五月渡航トレドヒースサ轉地から富植民地に来て、約三十町歩の土地を所有し一萬六千本の珈琲の外に米や綿の栽培をして居る。



Sr. S. Oda—Albuquerque Lins S. Paulo Brazil



新潟の産、外語學校より渡伯、ベイロン市を中心として移住者の爲めに盡力する事多年。後ミナス州に入つて今日未
作地の基礎を作り更にノロエステ線に轉じて數百町歩の土地を開拓して居る。官眞は此寫眞帖の編輯者と面談紀念の
し。

Sr. N. Takizawa e S. Nagata—Presidente Penna S. Paulo Brazil



遊資縣伊香郡鹽津村出身。明治四十二年歸露に渡航し後、智利、亞爾然丁、ポキピア、パラセイ等の諸國を廻り大正四年伯利西爾に着し鐵道労働に従事したる後、資を得て大正五年からバウル驛に旅館の經營を始めた。此市は將來日本領事館が出来る筈だ。

Srs. Sawao—Bauru S. Paulo Brazil

會賀觀節長天の砲同伯在と君夫節崎矢

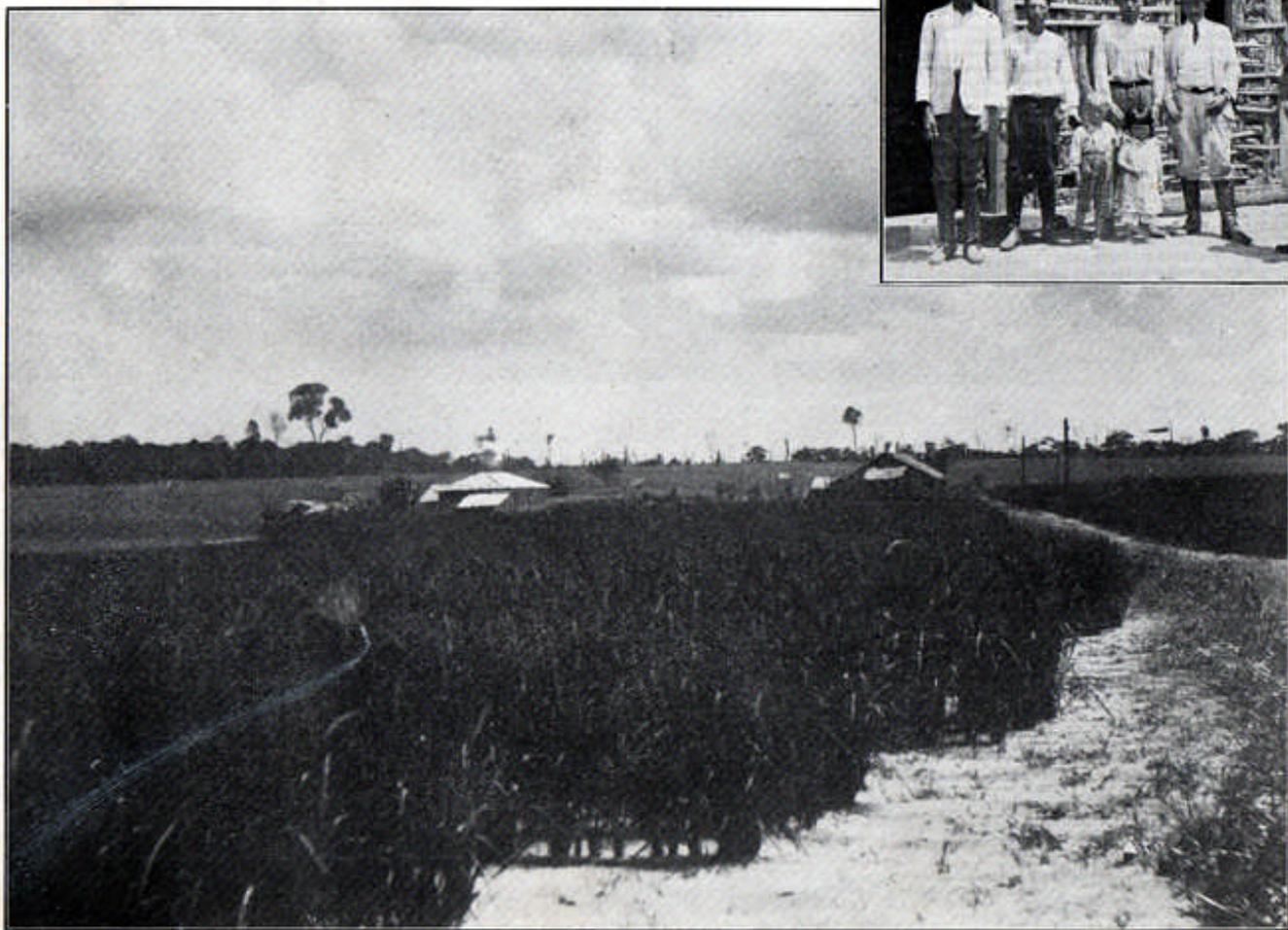


長野縣諏訪郡四賀村に生れ同地中學校を卒業して渡航し耕地の開發を兼ねて臥龍山植民地を經營して居る。寫眞右は馬上の同君。左はヴィラコスナナ日本人會の天長節祝賀會紀念。

Japonez e Sr. S. Yazaki—Villa Costina S. Paulo Brazil

富岡漸君の米田

富岡君は學院院の出身者。ガラニテ川兩岸に米作地を經營して居る。迎の馬が来て居なければ裸足でアタタカ
さ。五里位は裸足で大丈夫だよ。と。以て其の意氣を知る事が出来る。



Sr. S. Tomioka

君野平故るたし設建を地民植人本日の初最に爾西刺伯



蘭研開契約期間の満了せる移住者に土地を持たせて
 定住させる事は伯刺西爾に於ける日本人の指導上最
 も大切な事であつた。平野君は萬難を排して之れを
 遂行し、業未だ成らずして歿したが、氏の犠牲的奮
 闘に依つて爾後の同業は、非常なる恩恵に浴して居
 る。寫眞は平野植民地第十五號地の新里(右) 故
 平野君(左) 平野植民地の假事務所(左下)

Nucleo Colonial de difunto Sr. Hirano

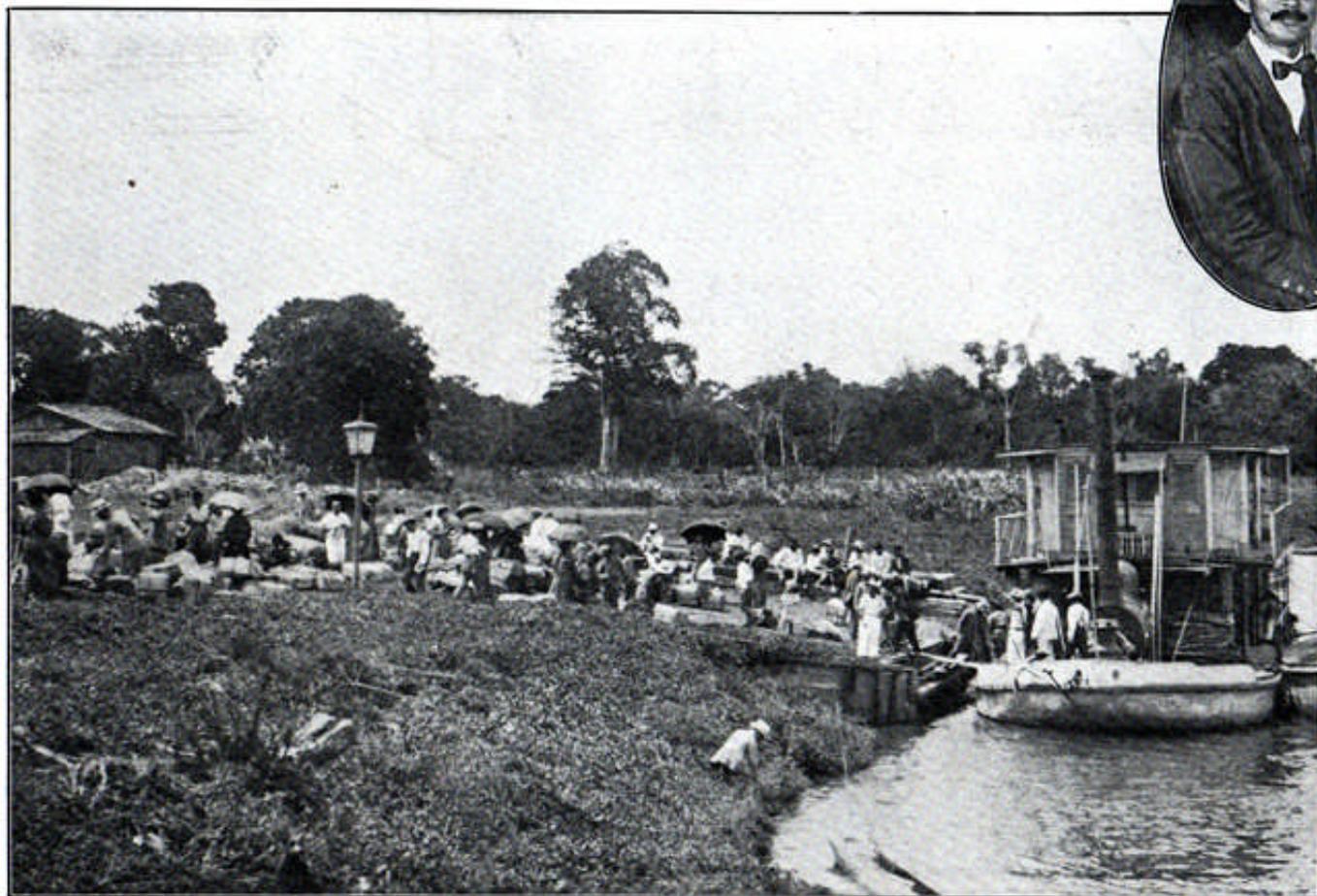
大 瀧 製 糖 組 合



レジストロ植民地に各廿五町歩の土地を有し大瀧を利用して製糖を開始す。四ヶ月間に一千俵の砂糖を製出する見込
 で皆長野縣人だ。深澤深一君、長野縣東筑摩縣波多村。山寺風君、長野縣小縣郡富士山村。和田陸樹君、長野縣長
 市長門町。小林武二郎君、長野縣下高井高丘村。大瀧助治君、長野縣更級郡今里村。高野實君、長野縣上水内郡朝陽
 村。中島貞雄君、長野縣埴科郡中ノ條村。及び其家族。

Otaki Kumiai—Registro S. Paulo Brazil

(a) 地民植ロトスダレ (一) 社合式株業興外海



一千萬圓の資本を有する海外興業株式会社の伯利西爾の主刀はレオストロ植民地とアニューマスの耕地經營だ。前者主任は白鳥亮助君。寫眞は日本からの植民がイペイラ河の河舟でレオストロに上陸する所。(右上)は白鳥主任。

Kaigai Kogyo (1)—Registro Iguape S. Paulo Brazil

Sr. G. Shirotori



レゴストロ河他に事務所、社宅、商店、娯楽、移住者牧場所がある。此土地に投じたる資本八拾萬、更に數十萬圓を投じて精米所と製糖所を建築して居る。面積一萬五千町歩、現に四百五十家族を入れ満員の實況だ。新墾土地幾多の畑が遠方の天にあがつて居る。

Kaigai Kogyo (2)—Registro S. Paulo Brazil

伯利西爾の地勢は多くは波状地だ。地質は肥沃で氣候は温暖、生産物は極めて豊富だ。寫眞はレストロ植民地の代表的地形を示して居る。適度に雨が降るから排水し灌漑し殆ど不用だ。



Kagai Kokyo (3)—Registro S. Paulo Brazil

(d) 地民植三第ペアダイ (四) 社會式株業興外海



此植民地では一戸分を二拾五町歩としてある。適當の地區を選定する迄移住者は收容所に居る。それから天幕の樹立小屋を作つて草木を伐り拂ひ適當に乾燥するを待つて後き拂ひ米細甘藷豆等を植ふる。

Kaigai Kogyo (4)—Colonia Sete Barra S. Paulo Brazil

植込附が終つて四ヶ月たつと收穫が始まる。竝に米を收穫して居る所だが此外に綿も甘蔗も芋もマンゴカもナも其他の作物が取れる外に何には魚類が由には肉用の鹿などが澤山居る。



Kaigai Kogyo (5)—Registro S. Paulo Brazil

堀立小屋が改築されて住心地のよい家になる頃には土地と産物が澤山にあつて食ふ事の心配はいらなくなる。かくて静かな日本村が出来て行く。竝に四家族の集團である。



Kaigai Kogyo (6)—Registro S. Paulo Brazil.

(a) 地耕スマーユニア (七) 社會式株業興外海



海外興業會社ではアニューアス耕地を購入した。江越信風君(右土)が主任となつて各種の作物を栽培して居る。寫眞は此耕地の労働者の宿泊する村で一般伯利西爾の耕地では労働者がかくの如き村落に生活するのです。



Kaigai Kogyo (7)—Fazenda Anhumas e Sr. Egoshi S. Paulo Brazil



アニューース耕地の主要産物は珈琲で富強は其探査を示して居る。契約移民で渡航した移住者は此種の仕事の外除草や地代を安せぬ小作をする。三四年辛抱すると土地を購入する資本が出来るのだ。珈琲は一株から三斤位の収穫がある。伯利西爾全境では一々年に一千二百萬俵(一俵十六貫入)産出する。

Kaigai Kogyo (8)—Calheita de Cafe



伯利西爾では豆が一年に二度取れる。畑の間に作するので、
行きが宜しい。富直はアニューマス耕地の豆の収穫を示す。
國民は米と豆とマンシヨカとを常食するから豆の買れ

伯刺亞爾で一番確實な農業は畜産だ。殊に肉牛がよい。資本が多くかゝるので日本人が此方面に進んで居る者は少ないが海外現業はアニューマスで盛に牛を養うて居る。圖は同新地牛群の一部だ。



Kaigai Kogyo (10)



新得縣北苗原郡中領村出身。明治四十一年渡航大正三年よりサンクトスで醤油醸造創業。伯利西爾で醤油醸造の嚆矢ある。



Sr. E. Kanda—Caixa Postal 282 Santos Brazil



南米東岸の大西洋には魚族が非常に澤山棲む。日本人が盛に漁業をやつて利益をあげて居る。
租 島谷岩吉君
合 今田榮八君
員 高松孝行君
松浦勝芳君
廣島縣高山市松濱町。
同縣同市同町。
同縣沼津郡草戸村。
愛媛縣上浮穴郡弘形村。

Shimatani Cia—Mercado #5-7 Santos Brazil

上原直義君



原籍沖縄縣國頭郡國頭村。明治四十五年渡航し大正六年から洗濯業を開始した。伯對西爾には沖縄縣人が澤山に居る。在留民の一割五分は此縣人だ。伯對西爾には沖縄縣人が澤

Sr. N. Ueyhara—Rua General Camura 128 Santos Brazil

原籍愛媛縣西宇和郡川上村。明治四十五年渡航後漁業を経営して現に至る。清水氏は前記島谷氏と共に日本人漁業家の中心である。



Sr. Y. Shimizu—#26 Torreão Mercado Santos Brazil

三 吉 一 義 君



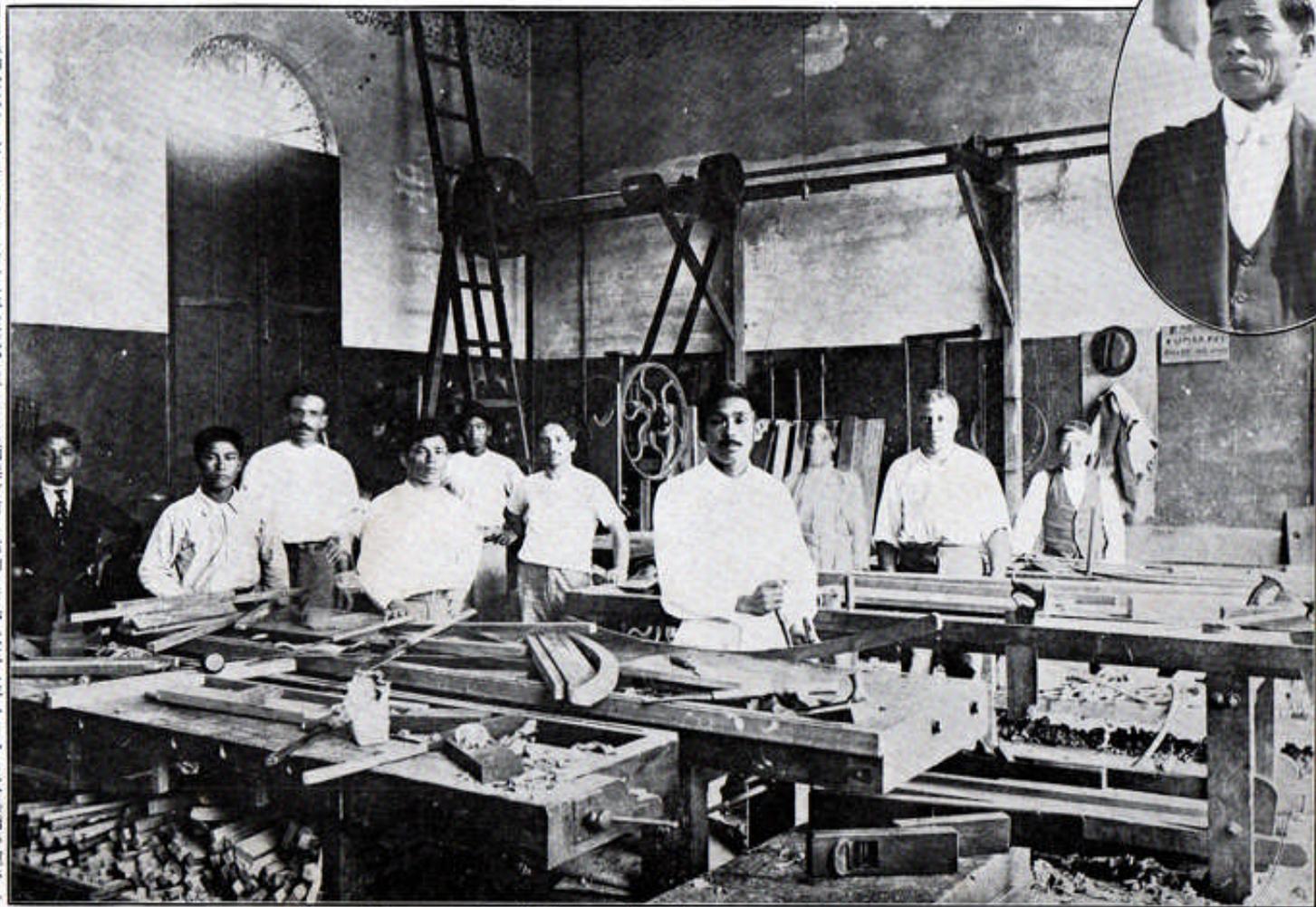
廣島縣北斐郡口北村出身、明治四拾三年アメリカセンテナ國に
瓦斯及び電氣アイロンを使用し新式の洗濯法をやつて居る。

就し同五年セントスビに轉じて洗濯業を始めた。



Sr. K. Miyoshi—Rua Sendador Feijo 255 Santos Brazil

金山三喜郎と家具製造工場



岡山縣御津郡市之宮村出身。大正三年渡航。主として商業方面に活動したが大正八年一月から家具商の經營に初めた。

"Casa Japonez"—Rua Rangel Pestana 37-41 Santos Brazil



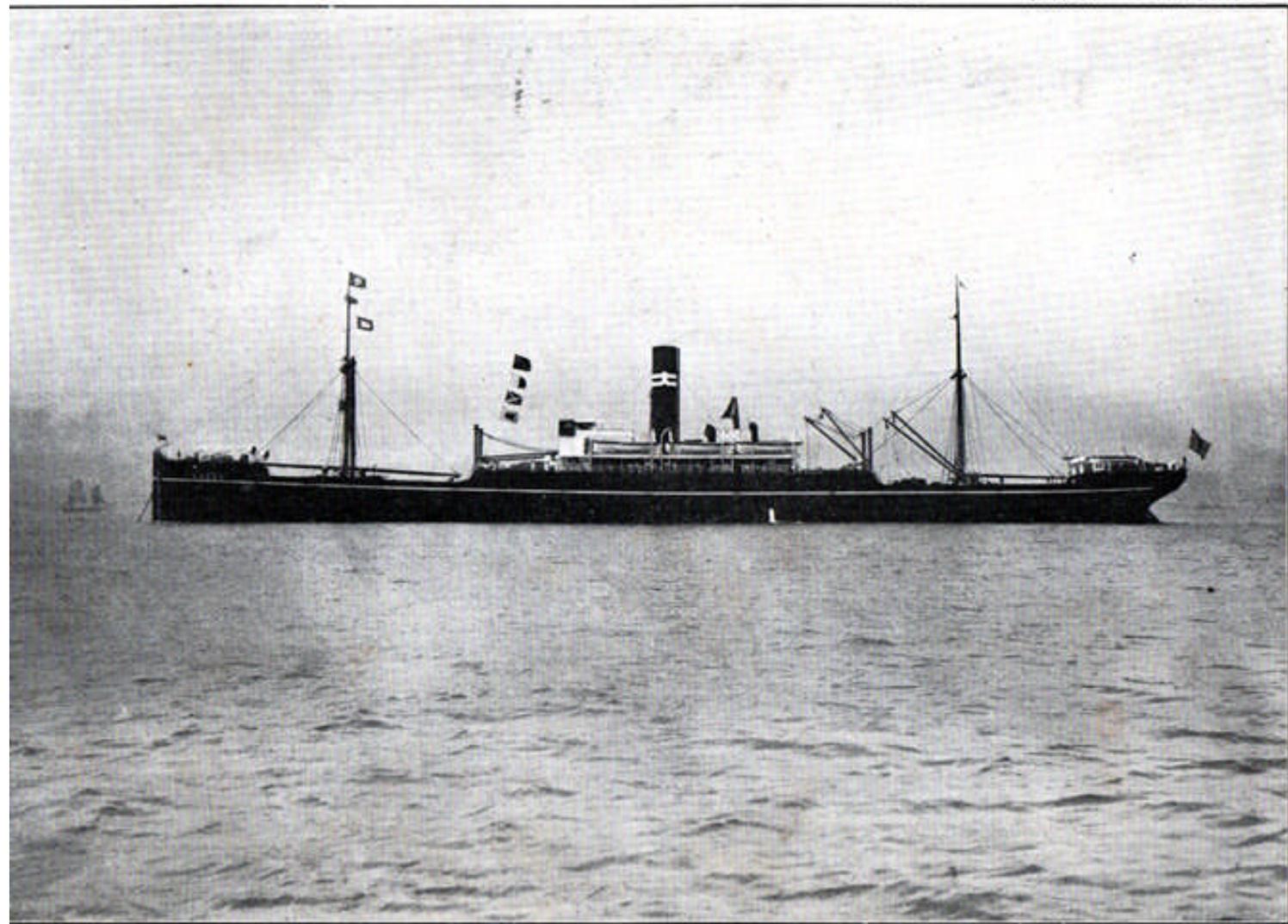
Immigrantes Japonez sobre do B. V. "Wakasa Maru".



B. V. "Wakasa Maru" do Nippon-Yusen-Kaisha



Emmigrantes japonês sobre do B. V. "Seattle Maru"



Osaka-Shosen-Kaisha "Seattle Maru"



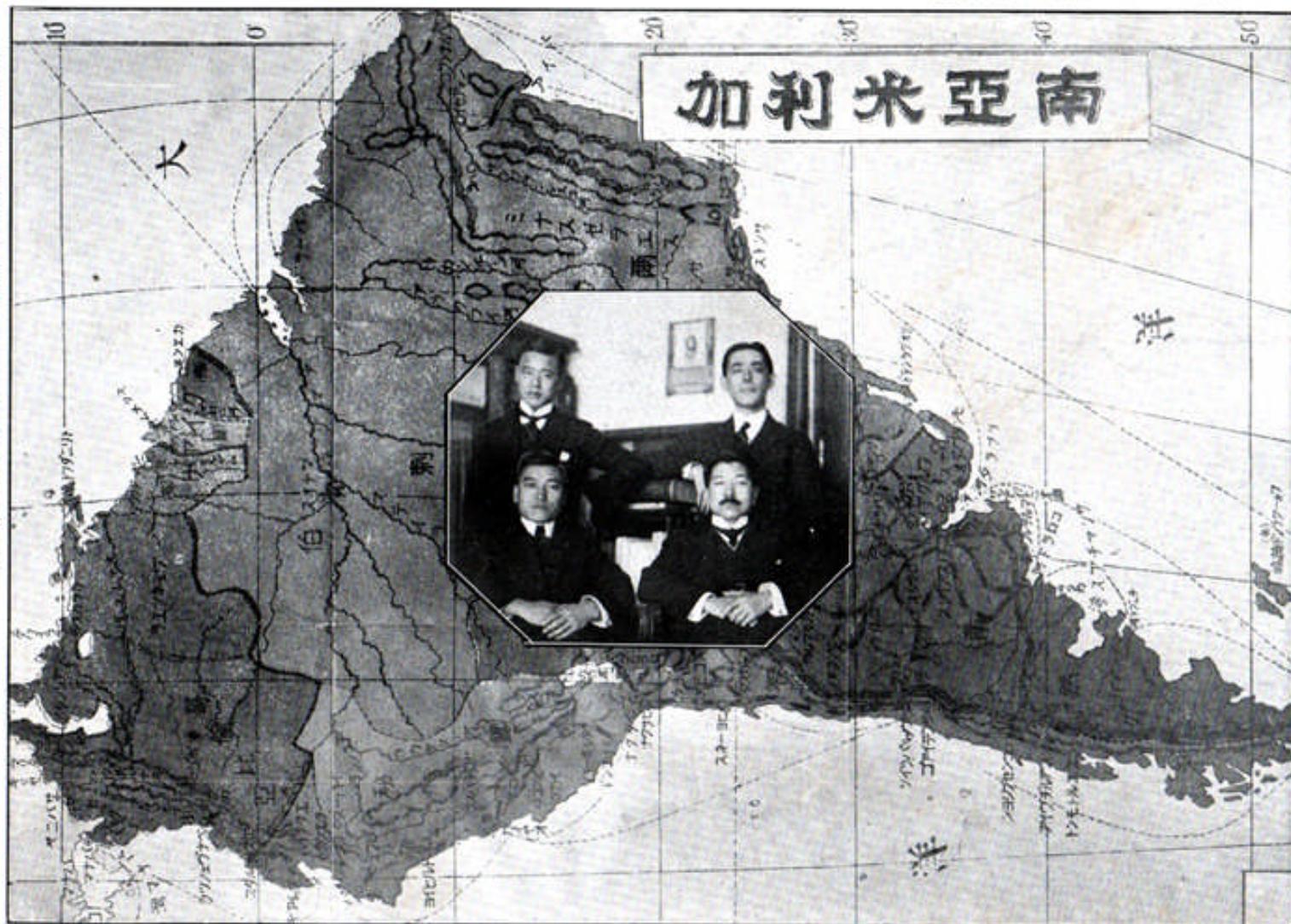
Buenos Aires—Argentina

亞爾然智那共和國は面積約百十五萬方哩人口約八百萬人。氣候溫和、地味肥沃、地形坦々たる平野にて農業に盛す。アンデス山には鑛物、大西洋には魚族がある。日本人の在留する者約三千人。首府をブエノス・アイレスと云ふ。



ブエノスアイレス市はラ・プラタ河川にあるとい、港で南米の中心である。人口百七十萬。南米の巴里と稱せらるゝ英
ばしい町だ。日本人は約千五百人滞在。公使館領事館新聞社の外に日本の大きな商店がある。

Buenos Aires—Argentina



日本公使附員 芝井金之君。若林高彦君 副團章君。領事山崎次郎君。

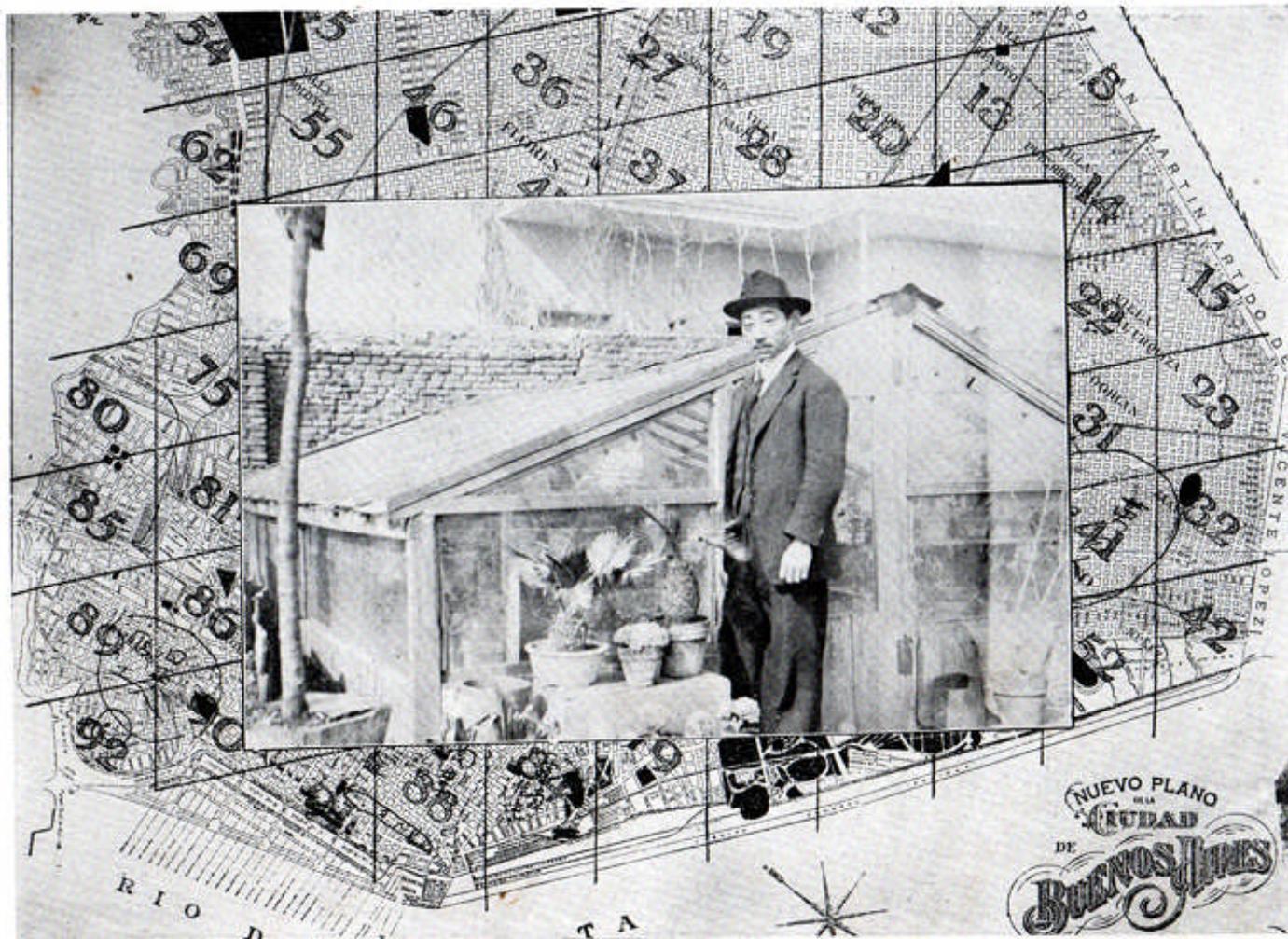
Oficiales de Legacion y Consulado del Japon en Argentina.

我日本の對南米政策が確立すれば、それは中村公使の主張の表圖である。

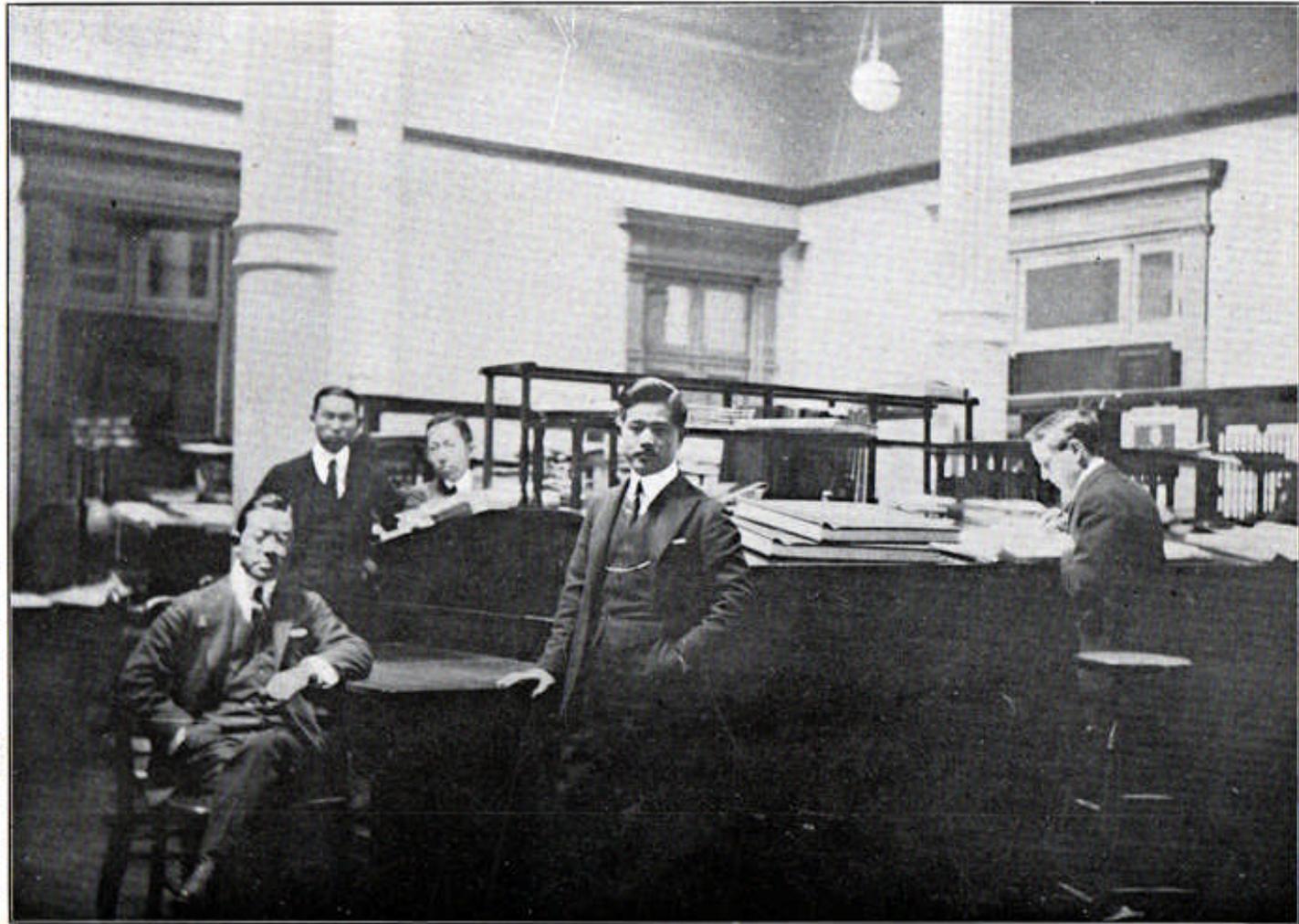


Exms. Sr. y Sra. T. Nakamura-Ministro Japonés en Argentina.

亞國唯一の日本字週報で池田誠造君が其社長。



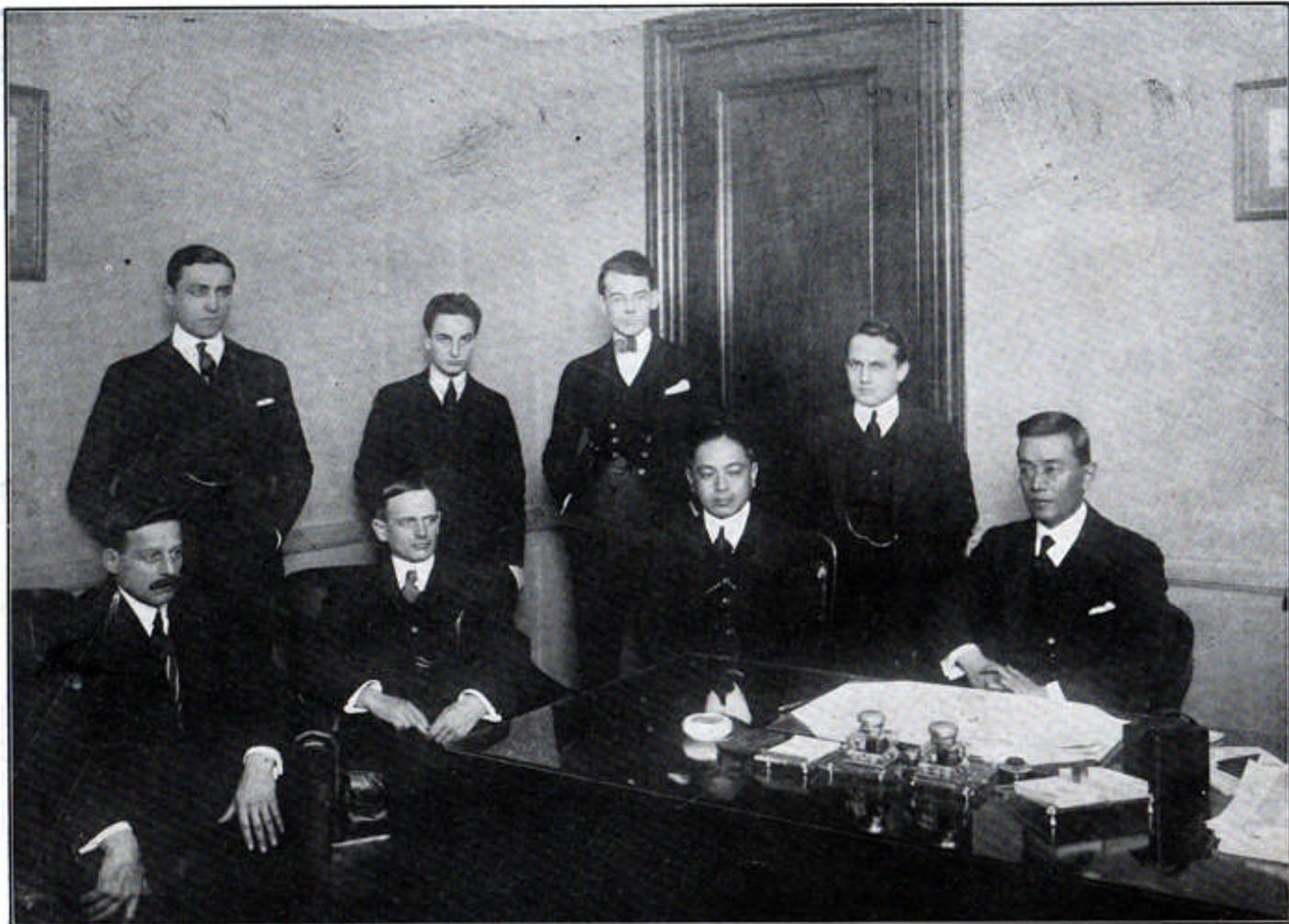
Sr. S. Ikeda. Buenos Aires Argentina



支店長西一雄君。日亞貿易は大正八年度に四千萬圓と勝せられた。此は日本人の外國間の貿易が驚くべき巨額に上るが之れ等の決済は此銀行でやつて居る。

Yokohama Shokin—Bueno Aires Argentina

所長河津益雄君。日亞貿易の外に印亞、米亞其他盛なる商業を營んで居る。



Mitsui—Buenos Aires Argentina

南 米 商 會

經營者橫道金一郎君。中井次郎君。日亞貿易株式輸入業。



Nambei Shokai—Buenos Aires Argentina

支配人田尾三郎君、副支配人伊藤菊君、直輸入業



Yano Joko—Buenos Aires Argentina

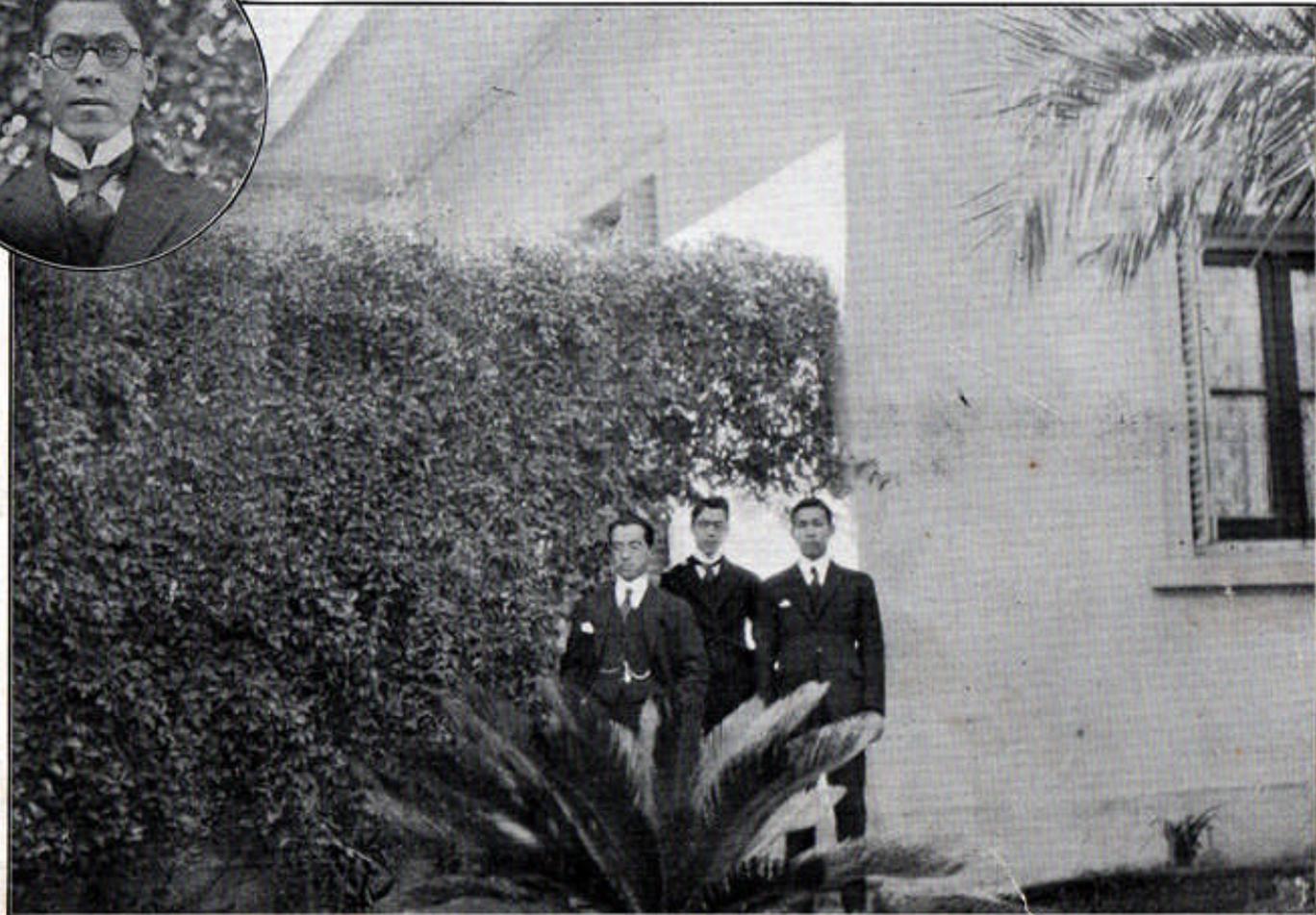
支配人田尾三郎君、副支配人伊藤緒君、直輸入業



Yano Joko—Buenos Aires Argentina



主任横濱建吉君。東洋美術品専門。



Maison Satsuma—Calle Pellegrini Buenos Aires Argentina

相 良 周 吉 商 店

直輸入業。

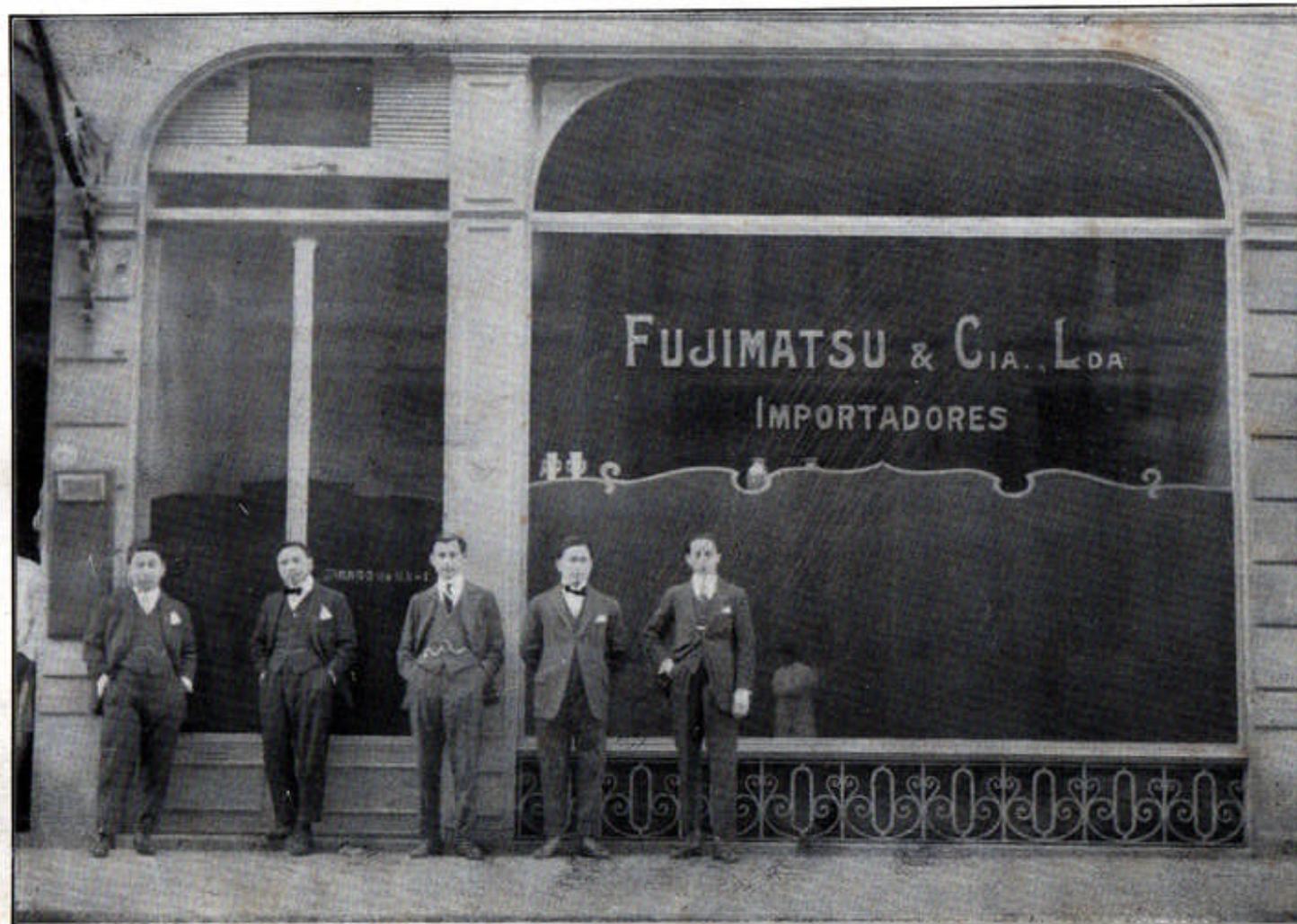


J. Sagara

IMPORTADOR
DE ARTICULOS GENERALES DEL JAPON

Livault 1918 U.C. 1919 del Buenos Aires

内々崎豐三郎君。樺葉養雄君。直松入向。



Fujimatsu & Cia—Calle Tucuman 1126 B. Aires Argentina

支店長鹽川伊四郎君



Nippon Boyeki—Rivadavia 968 B. Aires Argentina

所張出スレイアスノエブ社會式株事商田内



出張所長中西信清君



Uchida—Mayo 560 B. Aires Argentina

Sr. N. Nakanishi



本店 神戸市北長狭通三丁目五四。
支店 亞細ア市リマ街三一三。
出張所 國也市ゴメズ街一四二六。

313 Lima B. Aires Argentina

B. Takinami Cia

1426 J. C. Gomez Montevideo Uruguay

本店
本店
支店長 加藤茂君



所張出米南社會式株花綿本日



輸出入業。所長 鹽田君。



Nippon Menka—Lavalle 341 B. Aires Argentina

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百



Sr. T. Fujihara—Tucuman 1508 B. Aires Argentina:

農學博士伊藤清敏君は亞國で宏大なる農場を經營して其『農業經營學』を實際に行うて居る。在亞日本人の雄。



Dr. S. Ito—Bolivar F. C. S. Argentina



在外同胞が諸工場のスキルド・レイバアとして工場に働いて居るは亞國ア市丈けである。杉原隆治君（中央の中折帽）が組合長となつて労働組合を組織し亞國の労働組合と運交交渉して居る。

Rodokumiai—Rocha 1269 B. Aires Argentina



日本力行會本部 東京市小石川區七十番地。支部は世界各地に澤山ありて海外發展後進者の爲めに種々盡力して居る。此寫眞は亞國支部の一部と長野縣人會が著者歡迎紀念。



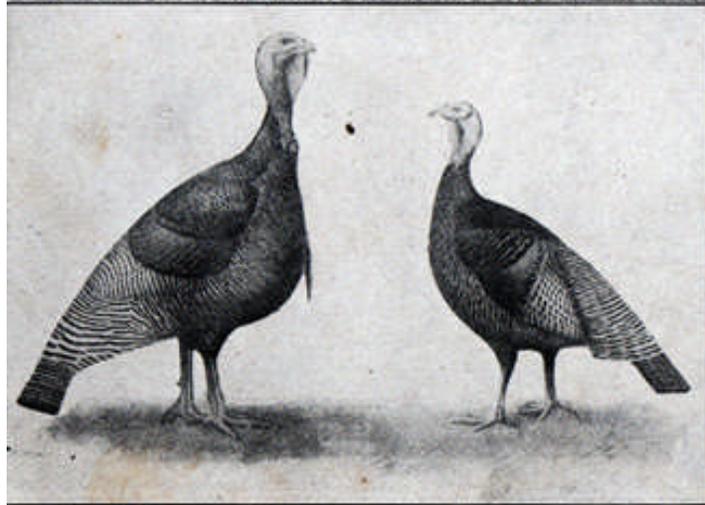
三國アエノム・アールス車輪製の日本人産物者。上欄は山岳に舟け出資でんとする所、下欄はワイワイラア。



Vista general de la estancia en Argentina



Trigo listo para la exportacion



Argentina

智利と亞爾然智那と永久に平和たるべき標徴としてアンデス山上にイエスキリストの立像がある。フェノスアイレスからサンチアゴ迄汽車四十時間で達する。



峡 海 ン フ ゼ ヲ



Strait Mazeran



智利共和國の面積約廿九萬平方哩、人口約五百萬、日本人の在留する者は三四百に過ぎざらんも智貿易は年と共に盛になり智利國民は日本人に對し非常なる好感情の所有者だ。



(右) 大統領閣下
(左) 日本公使田村太七閣下 (現任和蘭公使)

El Presidente de Chile y Legacion del Japon

館使公本日と民留在利智

(上) 日本公使館 (下) 大長節祝賀會紀念



Japanese in Santiago—Chile

石川縣小松町千田平助氏の經營する所、日智貿易の勇者。



H. Senda & Cia (1)—Esmeralda 103 Valparaiso Chile

サンチアゴ市第一支店内部。



H. Senda & Cia (2)—Ahumada Santiago Chile

サンチアゴ市第二支店内部。



H. Senda & Cia (3)—Pasaje Matte Santiago Chile

智利國ツアキアピア支店内部。



H. Senda & Cia (4)—Plazs de la Republica Valdivia Chile



本店 横濱市不老町三丁目二四二。
支店 智利國に二個あり。此寫眞はバルパライソ支店である。

T. Shimizu & Cia (1)—Condeli 31 Valparaiso Chile, Furocho Yokohama Japan.

これは清水商店の智利國サンチアゴ市支店の寫眞である。



T. Shimizu & Cia (2)—Ahumada 276 Santiago Chile. B. Arrana Concepcion Chile



Type of Bolivian Indian



Chilena en Manto

群馬縣前橋市一毛町出身。山下舟湖氏の経営する店。



Mikado & Co.—San Antonio 39 Santiago Chile

會 商 松 兼



店主 兼松敏郎君。



T. Kanematsu & Cia—Casilla Correo 578 Valparaiso Chile



古川合名會社では南米各地の銅山を研究調査して居る。此寫眞は智利出雲所長遠澤盛之助君の一行が一九一八年第一回銅山探險を試みヤイヤイ附近セロフランコ銅山視察中の所だ。

廣 田 商 店



廣田商會は店主廣田修次氏の經營する所。

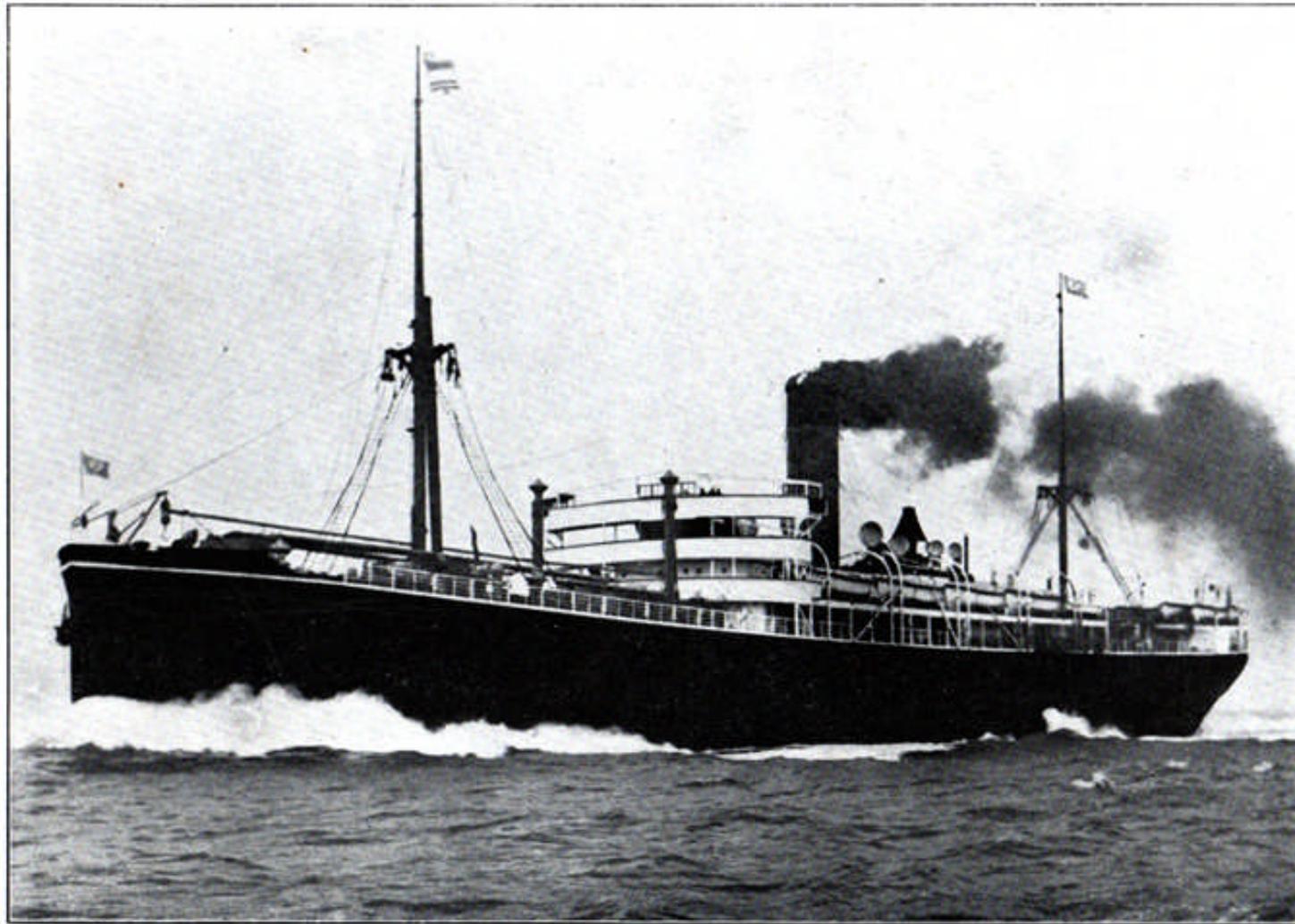


Hirota Shoten—Talca Chile



Puerto de Puno—Peru

東洋汽船會社は横濱市山下町四番地に本社があり、各地に支店がある。此船は南米航路の安洋丸。



Toyo-Kisen-Kaisha—"Anyo Maru"



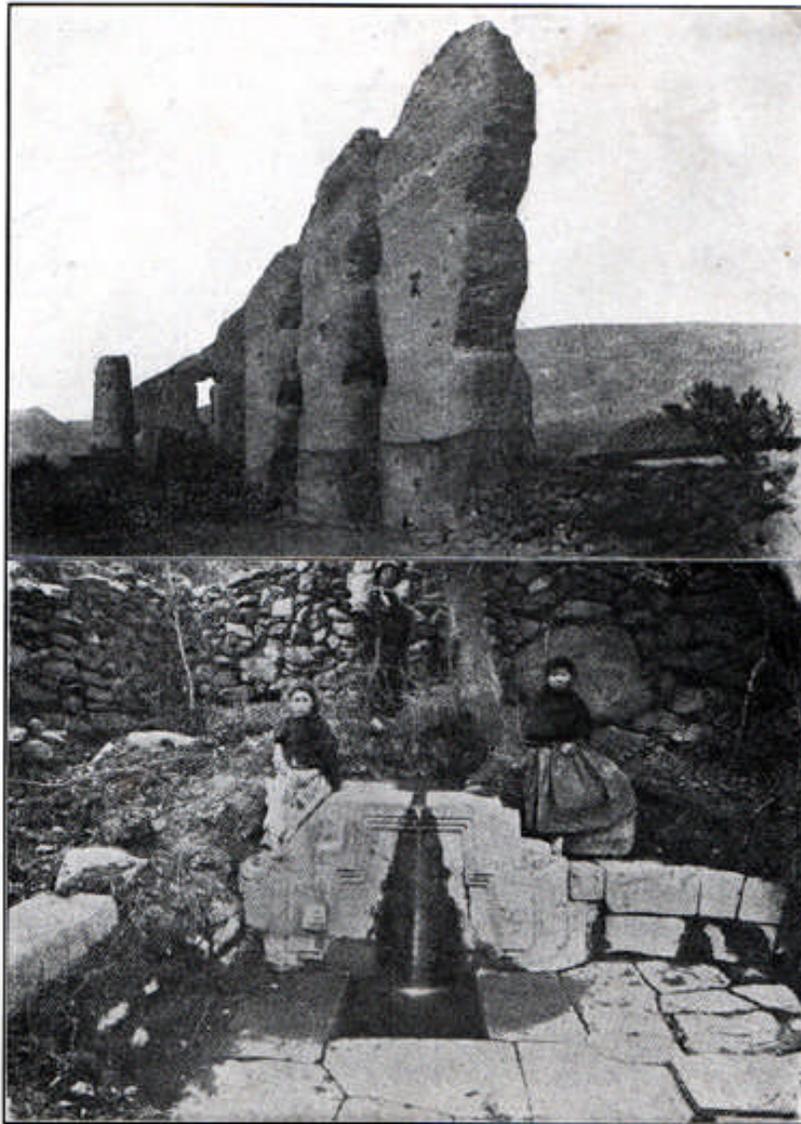
横濱を出帆して以後長途の航程を経てペルー國カトマチ港安着、移民官が船へ出張して来た所。

“Anyo Maru” en Callao Peru



Senor A. B. Leguia—Presidente del Peru

(上) 印加の遺蹟 (下) 印加の遺蹟



Ruinas del templo de Viracocha
ruinas del baño del Inca

館 事 領 國 帝

領事 齋藤 和君
外務書記生 和田 伸君
齋田從義君



Consulado del Japon—Lima Peru

前列右より小学校校長横瀬五郎君、幹事高橋内橋君、常務幹事北原昇君、會長橋谷信介君、會計森本市太郎君、幹事田中重太郎君。書記吉田諒文君。



Sociedad Central Japonesa—Junin 517 Lima Peru

念紀式校開校學小人本日馬里



秘魯國里馬在留日本人約三千名。學齡兒童約五百名。逐年増加する事感なり。森本市太郎氏等在留民の熱心なる諸氏の助力により小學校を創設し並に幼稚園學校卒業の横澤五郎氏を校長として招聘せり（政談右左）



支店長奥村萬之助君。多年経露共和國に日本移住者を送って居たが最近海外興業株式会社と合併した。

横濱正金銀行特約送金重預金取扱



千九百〇四年創立。

輸出入業、一般商品の卸小賣、税関代理業、カイヤオ税関内の通關、積込、運檢鑑定。
店主森本市太郎君。

I. Morioka y Cia—Lima Peru

橋谷商會(其一)本店



橋谷商會は一九〇一年橋谷精熊氏の創設する所、在留日本人商業の元組にして社員橋谷精熊君、橋谷信介君、小林良助君、津田隆治君の外に七拾五名の店員と大工場三支店及倉庫を有す。寫眞は本店事務所。

ペルーの支店。一ヶ年の賣上高約百萬圓。



S. G. Kitsutani & Co. (2)—Lima Peru

ブラザース支店の内部を示す。



S. G. Kitsutani & Co. (3)—Lima Peru

アレキパ市は秘魯共和国では里馬に次ぐの大都會、寫眞は同市にある橋谷商會支店

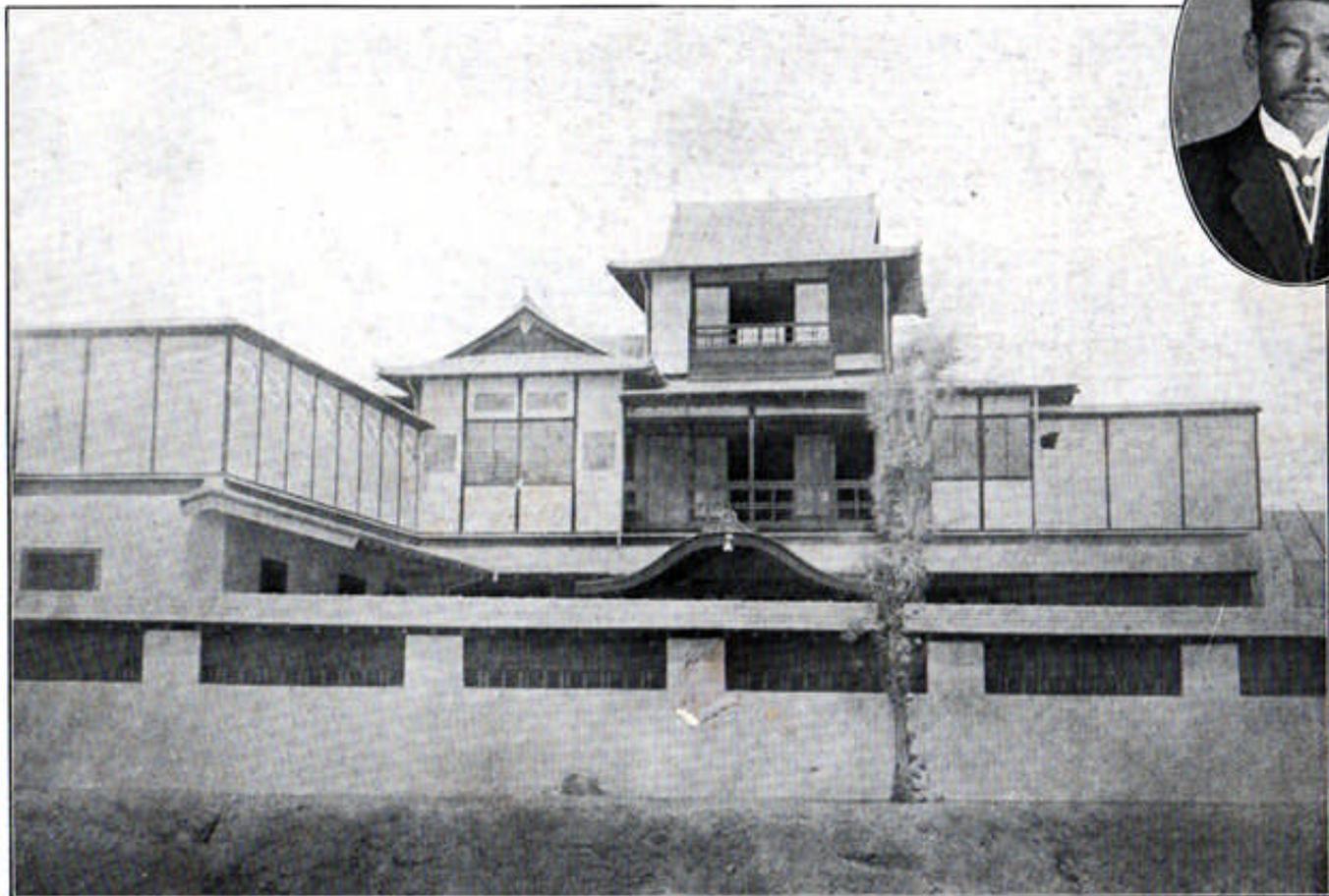


S. G. Kitsutani & Co. (4)—Arequipa Peru

(一其) 君 郎 太 新 永 富



氏は愛媛縣越智郡今治町の出身で明治廿六年に渡航して苦心の結業資本を得て大正四年に建築師資格を初めた。
富新氏は氏の日本風住宅。



Sr. S. Tominaga (1)—Apartado 1219 Lima Peru

秘路では材木が少ないので智利産や北米産を用ゆる従つて製材には百萬の資本を要する。富永氏の製材所は主府皇馬車
で一二を争ふ大きなものである。



Sr. S. Tominaga (2)—Lima Peru

木工部は非常な大きなもので製材所と相持つて大活動をして居る。日本の大工が巧なる技能を示して居ります。



Sr. S. Tominaga (3)—Lima Peru



富永君の木工部では里馬市電車の建築を請負うて居る。次で其の信用の高きを知る事が出来よう。翁、氏は護謨事業に興味を有し大きな護謨品製作場を經營して居る。

經營者末富啓之進君、同僚天君は山口縣佐波村早野町出身。同僚伊忠三君は廣島縣御調郡重井村出身。



K. Suetomi y Cia (1)—Poltal de Escribanos 300 Lima Peru

秘跡の在留日本人は農業方面と共に特に商業方面に秀くべき技能を示して居る。誰か云ふ日本人は實業に適せずと。



K. Suetomi (2)—Hda. San Nicolas Supé Peru

經營者工藤公司君の兩親は同君を同伴して此國に來て貿易を營み君を立派な貿易商に教育すると同時に此市街に扶く可からざる信用を築いた……。



K. Kudo y Cia (1)—Calle Valladolid 213 Lima Peru

…そして支店も設け兩親は横濱に歸つて仕入れをして後援して居る。



K. Kudo y Cia (2)—Portal de Botoneros 194 Lima Peru

オロヤ鐵道は海拔一萬四千尺の地方を走る世界最高の鐵道線。



Puente sobre el rio Mantero la Croya Peru

高橋理髮店



經營者高橋内楠君は福岡縣岩田郡高津村出身。
一九一〇年渡米同一二年より開業。現に同業組合長で職人が十名ある。
ワシントンには浮山の日本理髮院があるが昔師匠で其教育を受け

Sr. T. Takahashi—Calle del P'ue 373 Lima Peru

兵庫縣武庫郡須磨八木松。
第七回移民として渡航、大正四年開業す。
此種の經營者の代表的商店。



Bazar "La Japonesa"—Calle Paz Saldan 400 Limā Peru



日本雜貨食品輸入商。
經營者河井仲太郎君は栃木縣安蘇郡葛生町出身。明治四十一年渡歐し大正三年回歐。

Taisho & Co—Calle de Billinghust 321 Lima Peru



鏡製工場硝子店及眼鏡製造業兄弟廣瀨軍藏同芳男兩君以大分縣日田郡三花村出身。大正元年渡航、同三年開業。

G. Hirose Hnos.—Calle Virrey,na 439 Lima Peru

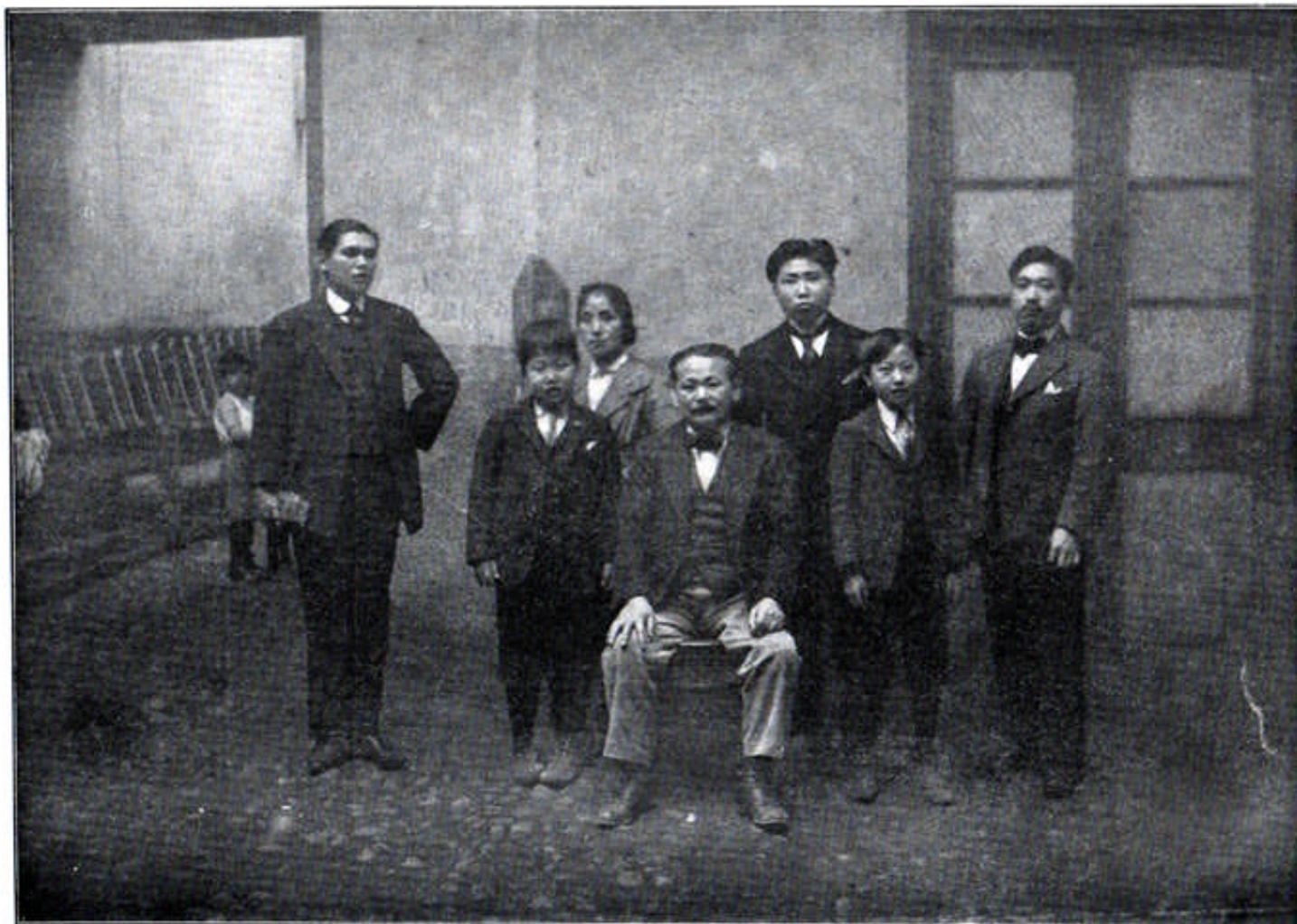
歐輸入商。經營者富田謙一君、西村武一郎君。



K. Tomita & Co—Judios 240 Lima Peru



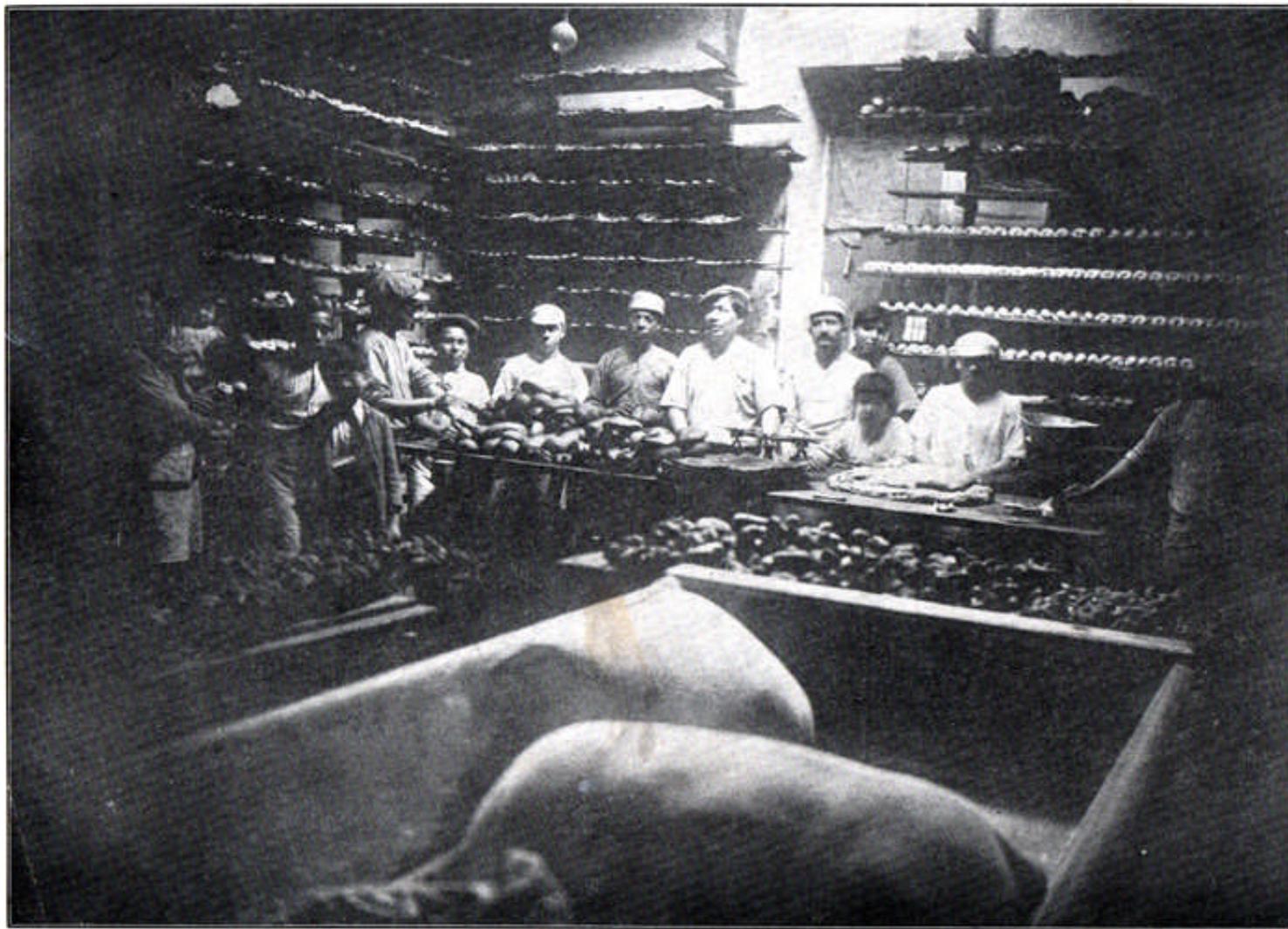
熊貨輸出入商。
本店 横濱市山下町二七三。
支店 支配人樋口恒雄君。



英子繁臣販賣堂。
唐正寺島喜十郎氏は麻賀縣愛知郡聖枝見村出身。
日本からのパン職人であつたが此國に渡航し苦心の結果寺島式のパン造がよな發明した。

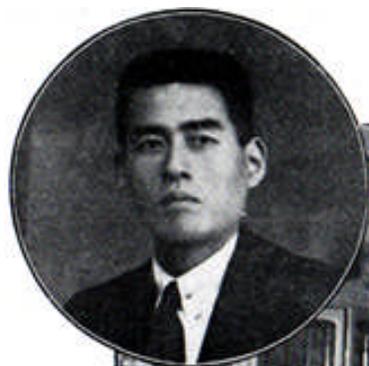
Sr. K. Terashima (1)—General 211 Lima Peru

秘録の職人多数を採用して晝夜各種の菓子を製出して居る。毎朝數十人の賣子が店頭に列をなして居る。



Sr. Terashima (2)—Lima Peru

越山商店



日用雜貨商
經營者越山君は山梨縣東八代郡御代崎村出身。原馬雜貨商組合長。



Sr. T. Koshiyama—Calle de Confanza 865 Lima Peru



店主酒井時助君。

愛媛縣西宇和郡三瓶村。

大正元年從航同三年在留日本人時計商の元祖として開店。

Sr. S. Sakai—Calle de Pescaderia 141 Lima Peru

雜貨檢出入業。
支店長小笠原武雄君。



Horiyama & Co—Bodegones 312 Lima Peru



本社 横濱市山下町四六。
支店長小林昌次君。

Pacific Trading Co. Peruvian section—Calle de Carrera 415 Lima Peru

店支馬里會商スデンア

本店 福井縣武生町。
支店 經營者佐々木長之助君 大久保貞穂君 内藤茂一君。
輸出入貿易商。



Andes & Co—Calle de Trujillo 244 Lima Peru

北原商會



硝子商。店主北原君。
福同縣朝倉郡寶珠山村出身。
明治四十二年渡航大正六年回業。中央日本人會幹事。

K. Kitahara y Cia—Call de Zavala 594 Lima Peru

店主中島喜代次君。
熊本縣玉名縣高直村大字高直。一九一三年渡航、翌年開業。

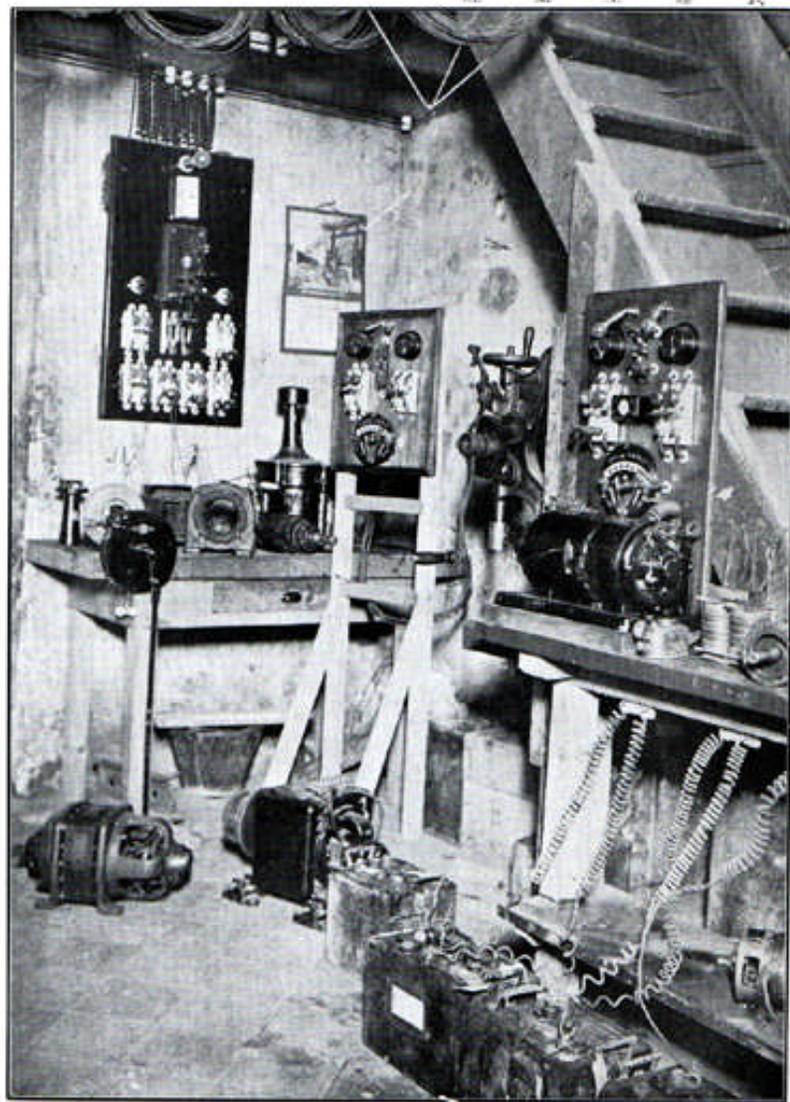


Sr. K. Nakajima—Calle de Zavara 586 Lima Peru



經營者の木三郎君 鈴木勇君
山形縣東置賜郡高白田町
明治四十二年渡航大正六年開業。

Hacenda Matate—Calle de Buenos Aires Lima Peru



電氣機械室、社長武藤義久君、山梨縣北巨摩郡三所村八十一、大正四年九月既成、七年閉館。



自動車マイヤ並附屬品販賣。
車輛マイヤの製品等。蓄電池修繕。
經營主野澤廣君。
福井縣坂井郡鳴鹿村鳴鹿山鹿。



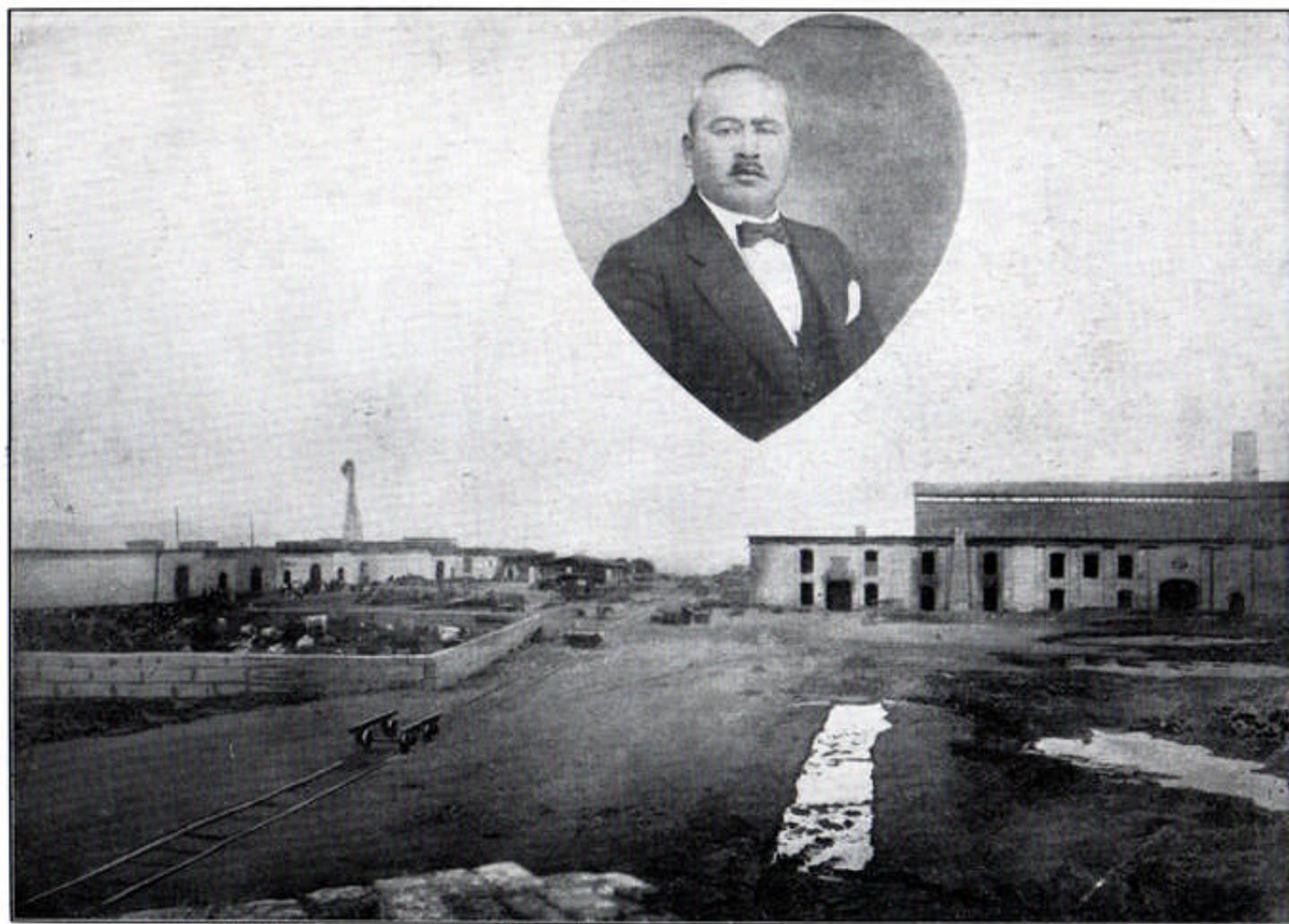
日本企業購買古輸入、備前備用、製糖場、
 經營者加味灰水等、同年代台、
 備島御前町製糖場。

品 類 製 糖 場



Deposito De Saisa Japonesa—Andahuaylas 369 Lima Peru

(一其) 合組西元田岡



パルパ農園。
岡田松君 廣島縣五日市町。元西村太郎君 岡田安齋君 井ノ口村。
輪花耕作二百五十町歩。大正九年底の積込約四百萬圓。
明治三十六年渡航、同三十九年創業、二十年間の努力と経験とを有す。

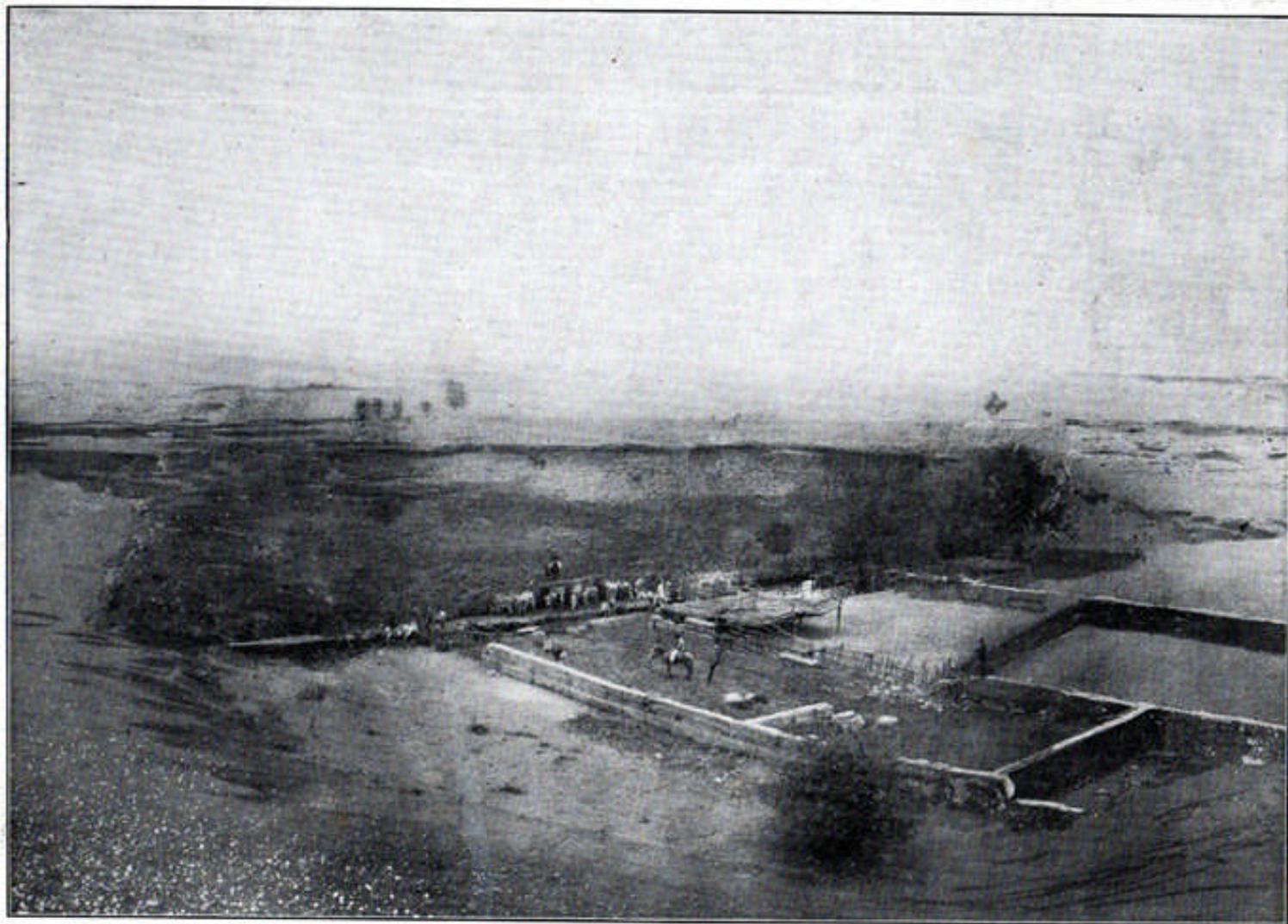
Okada y Motonishi Cia (1) Hacenda Parpa Hualar Peru



パルオ地方には約五百家族の労働者が居る。岡田元西組合はこれ等の人々に一切の生活品を給して居る。毎日半一額を戻りて餘不足だと云ふ。商品が五萬圓以上もある。

Okada y Motonishi Cia (2)—Hualar Peru

耕地二百五十拾町歩の綿花園は宏大なものだ。



Okada y Motonishi (3)—Hualar Peru

録露には農園が少ないと人々は云ふが農業家は着々として其地帯を築いて居る。



Okada y Motonishi Cia (4)—Hualar Peru

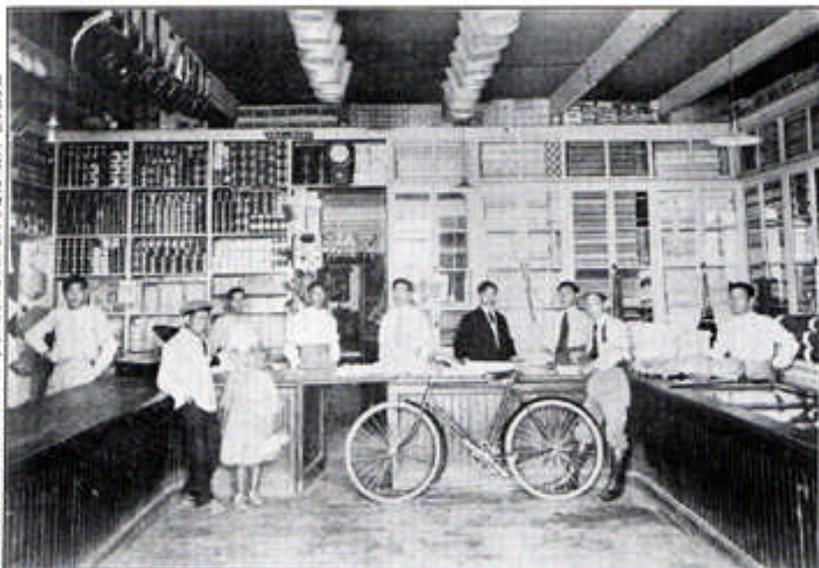


會長山城信重君。副會長比嘉吉久君。會計上里正義君。幹事金城朝榮君。比嘉且宜君。上原良源君。仲座里賢君。金城新元君。明治四十四年創立。會員五〇〇。基金三千圓。



藥種貿易商。
店主野々宮元藏君。(寫眞の向つて右より三人目)

Nonomiya Shoten—Calle Bejarano 277 Lima Peru



雜貨店輸入及び貯物種目。店主西本清五郎。奥は保潔安富並大宇上知其。
〔上圖〕西本清五郎の雜貨店。〔下圖〕奥のフナセト物置支店。



Kawamoto y Cia—Hacenda Palamonga Sápe Pere

店 商 村 濱



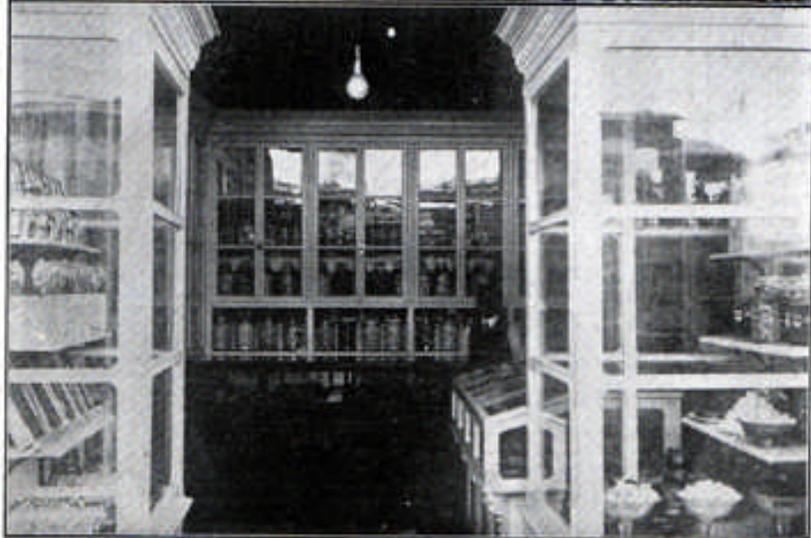
日本品及び織米小間物雜貨商。店主濱村彦一君。
靜岡縣田方郡江岡村町原。

Hamamura y Cia—Calle Galvez 49 Callao Peru

高子兼洋球啤酒洋川小

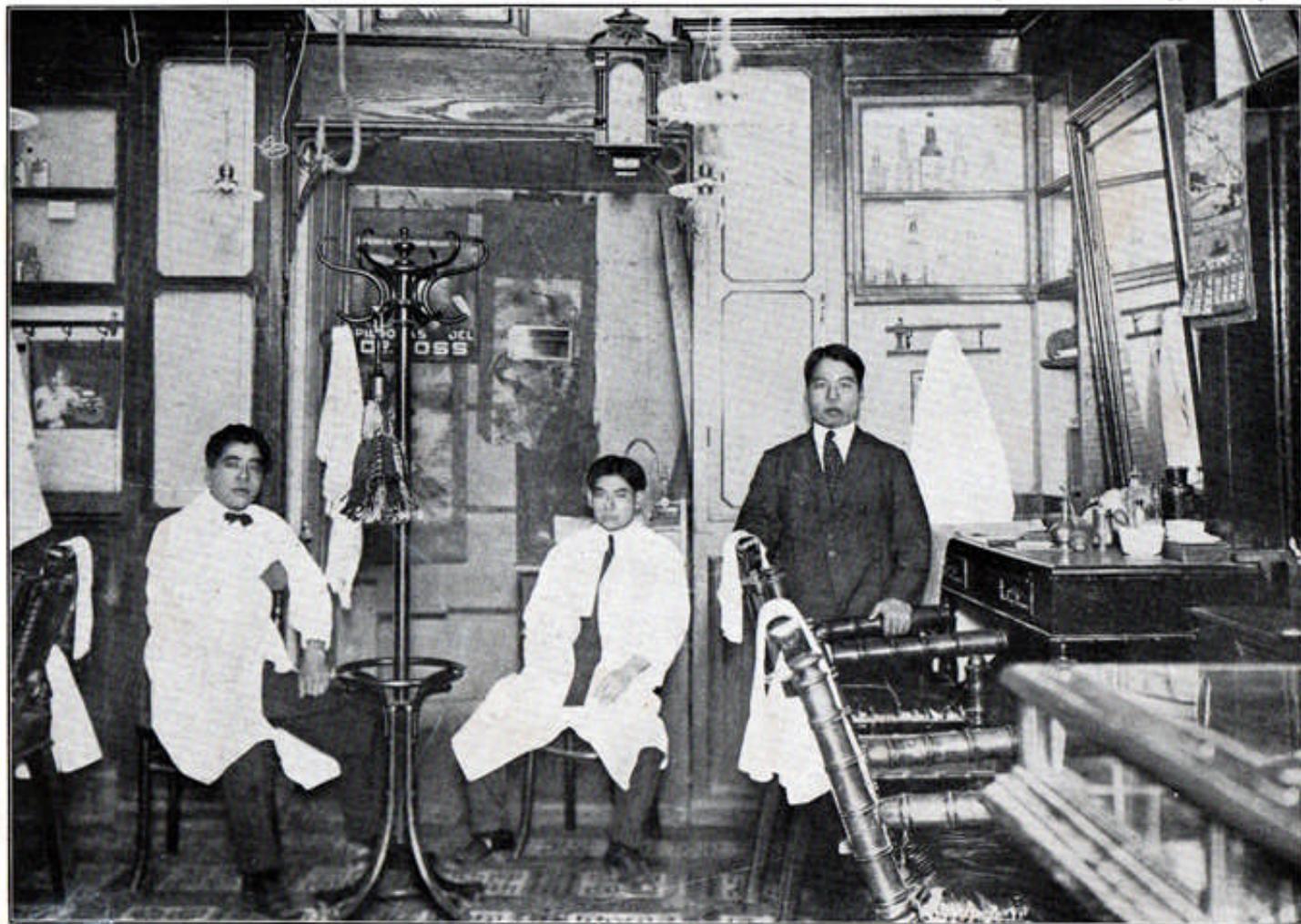


（上圖）洋酒店（下圖）洋菓子店 此外に加藤洋菓子店あり。



Sr. Antonio K. Ogawa—Avenida Saenz Pena 286 Callao Peru

理髮業。店主仲村颯次長君。冷湖縣中頭郡北谷本字屋良。



Sr. Nakamura—Calle de Adefokingu 35 Callao Peru

名 城 商 店



日川雜貨洋酒商。店主名城關鎮君。
仲繩縣若里儀保町四丁目一六。

Nashiro y Cia—Calle de Constitucion 312 Callao Peru

店 商 田 增



マインヤツ製造販賣。装身具商。店主增田胸三郎君。
静岡市兩替町五丁目。日本力行會長露部主任。

K. Masuda y Cia—Avenida Saenz Pena 234 Callao Peru

小 林 ガ レ デ

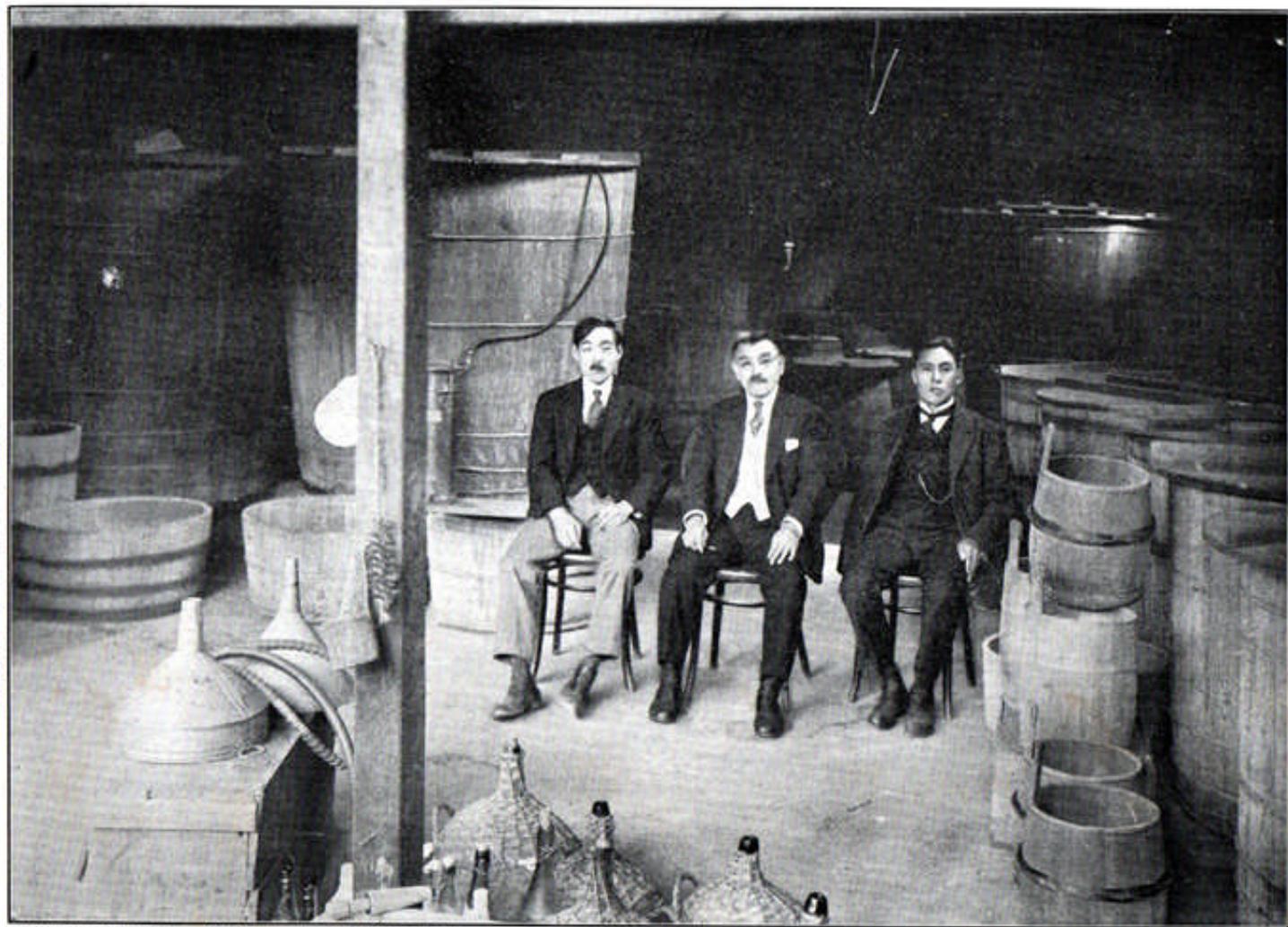


經營者小林實藏君、新國標北苗原郡川東村。
明治卅四年第一回移民として、我々大正元年創設。



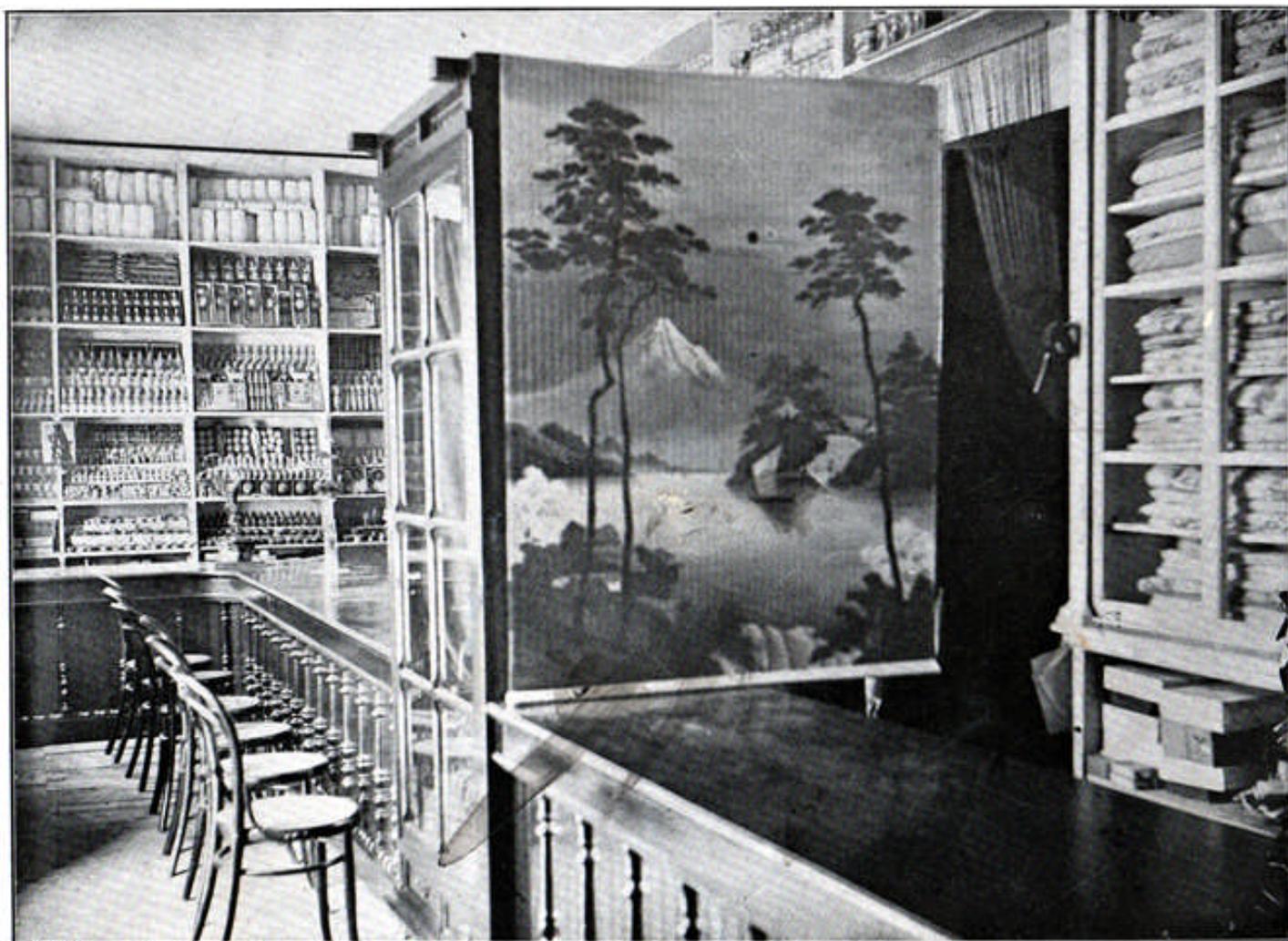
Garage Kobayashi—Calle Cotabambaz 338 Callao Peru

清酒釀造業。經營者（愛媛縣出身） 柳本宇平治君 横山壽吉君 河野磯八君 大正六年創業。



Masamune y Co—Apartado 1444 Lima Peru

日用雜貨玩具商。店主石田綱次郎君。



Ishida y Cia—Lima Peru



一九〇七年創立 現在の店舖首軒 創立十五年紀念。
組合長高橋内橋君、副組合長小林文太郎君、會計山本生介君、書記野日善右衛門君、理事船橋義雄、今井曾太郎、中尾一二、吉田好一、池田親七、野口實徳、藤川儀平の諸氏。

店主 浦伊佐太郎君。
福岡縣山内郡大和村大字宇土。



Restaurante Ura—Huarai Chancay Peru



大正四年創立。現會員二二三。
會長露山重兵衛。副會長山岸清松。會計佐藤正山。書記高橋兼右衛門の諸氏。

Sociedad "Fukushima Japon"—Junin 517 Lima Peru



創立大正三年 組合員一一一。
組合長越山伴平君 副長久津間善助君 會計三澤定春君 理事大久保泰助 伊藤健明 古屋彌次郎 池田次郎 原田
信輔 本間文太郎 須田義之 加藤孫一 後藤の諸氏。

Sociedad Mercantes Japonesa—Junin 517 Lima Peru



大正九年七月創立。會員一八〇。
會長岡田君 副會長水野亮君 會計黑野辰次郎君 同小平仲太郎君。

Sociedad "Hiroshima"—Junin 517 Lima Peru

創立大正八年。會員三〇。會長池田治郎君。



Sociedad "Kagawa"—Junin 517 Lima Peru

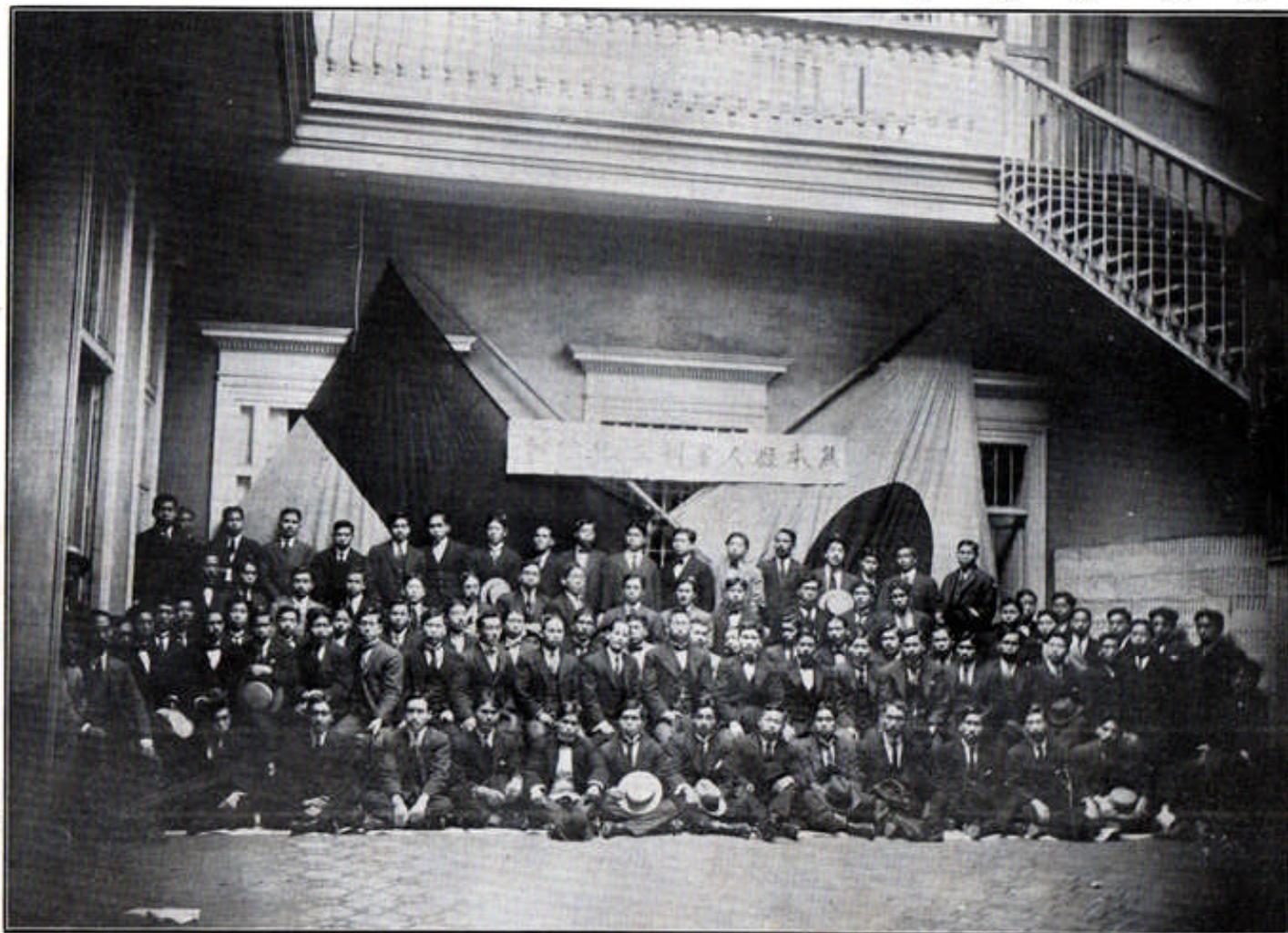


大正八年創立 會員四拾五。
總代理川義平 八谷與一 荒木次一 中山覺一 高村嘉平次の諸君。

Sociedad "Saga"—Junin 517 Lima Peru



一九一四年創立。組員一一七。
組長 櫻田義郎君。副長 阪本詩作君。會計 高橋平太郎君。



大正九年六月創立。會員二五三。
會長中島三郎君。副長中尾健吾君。會計中島喜代次君。議長寺崎七九郎君。

Sociedad "Kumamoto"—Junin 517 Lima Peru

大正八年六月創立。會員五〇。
會長矢野治郎吉君。



Sociedad "Oita"—Junin 517 Lima Peru



Sociedad "Restalante"—Junin 517 Lima Peru

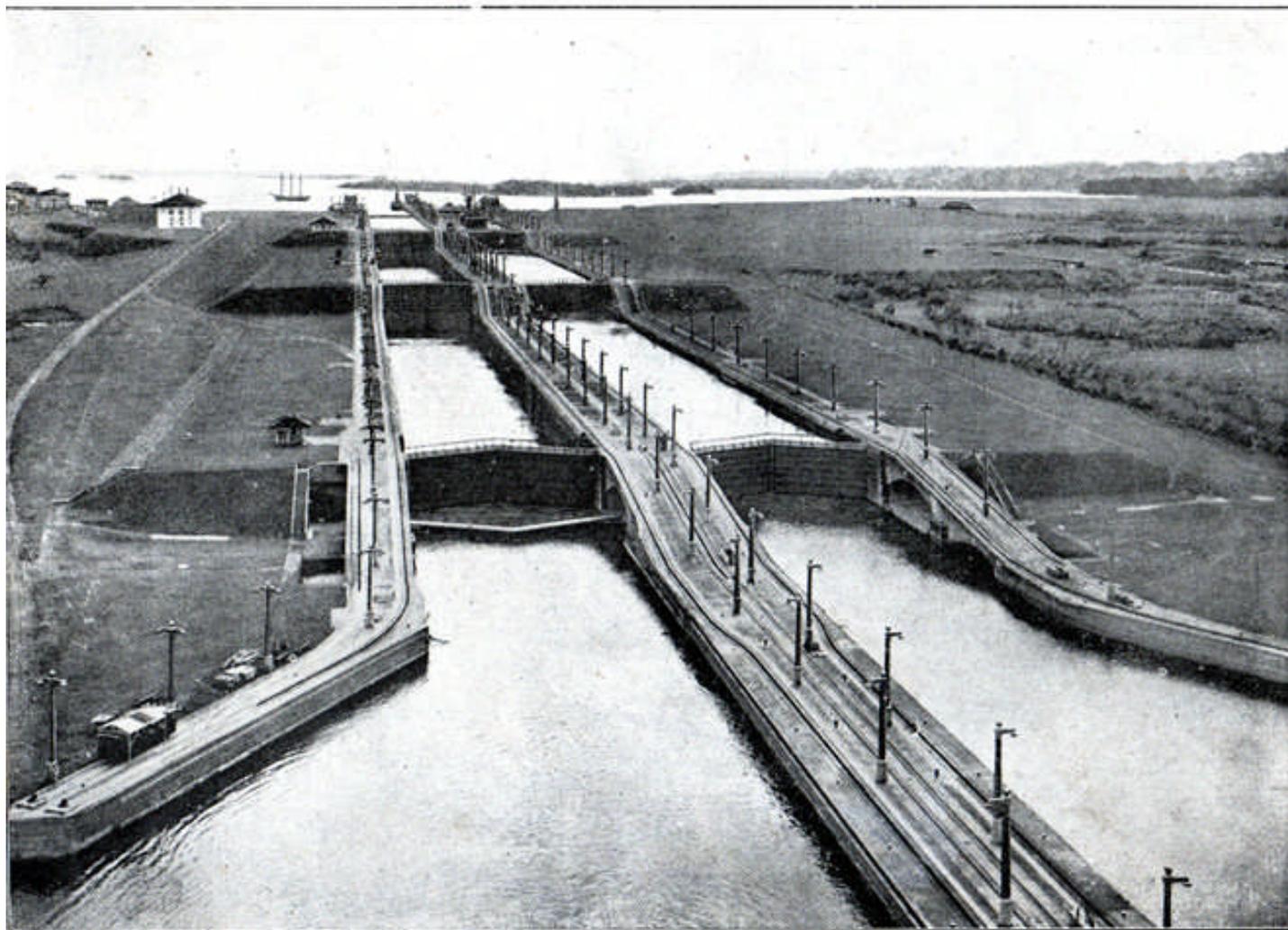


Canibos—Rio Ucayali Peru

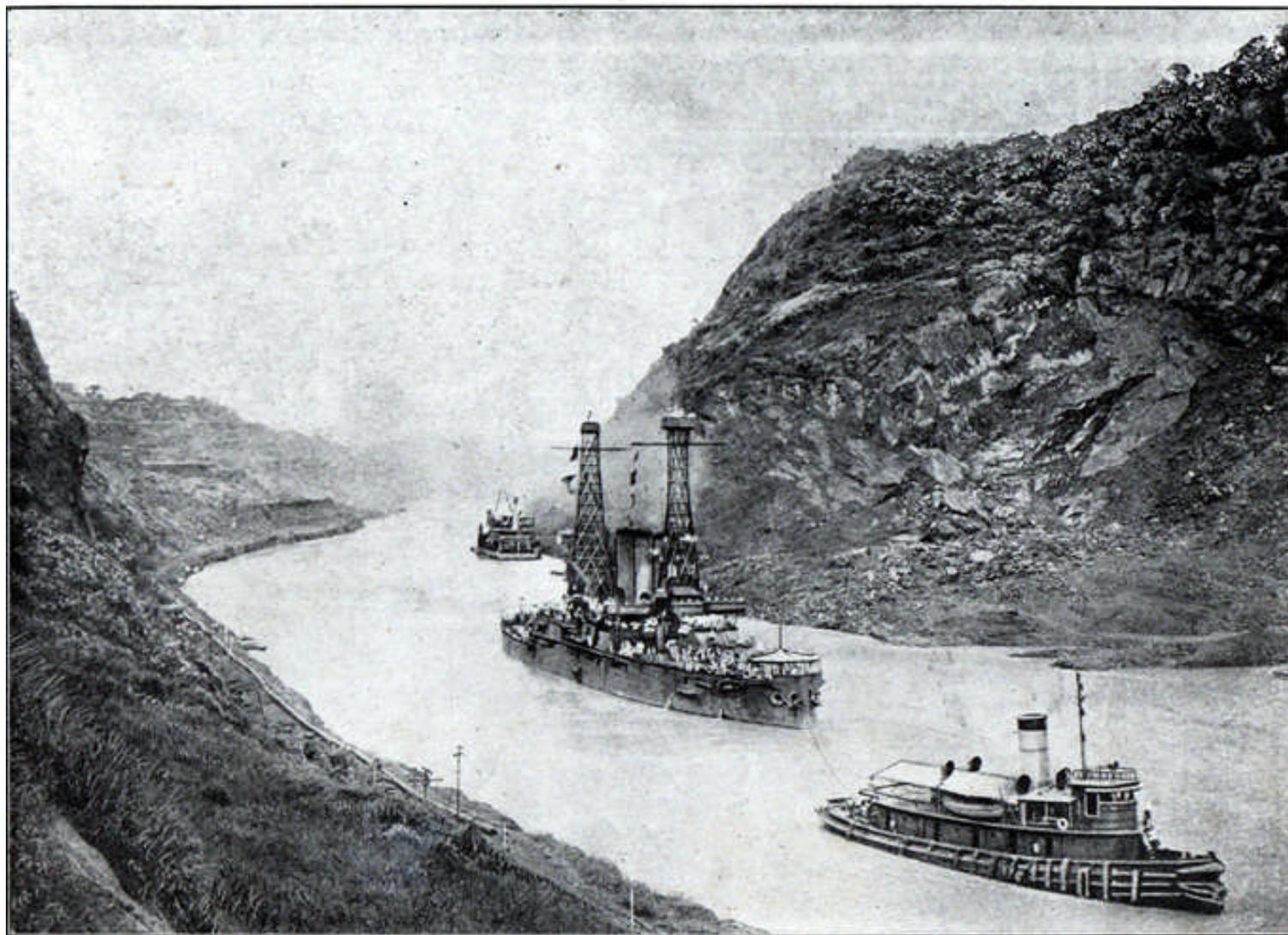
(流上の河ソグマア)流合河ヨマヤチンヤチと河ヨマロツ



Los rios Tulomayo y Chanchamayo se unen



Vista general de las esclusas de Gatun mirando hacia el Sur, Canal de Panama



巴拿馬運河通過的米艦



寫眞は大正九年十月卅日巴奈馬協濟會員の天長施設買會紀念のものと同地日本領事館の濱口光雄氏から寄贈されたものです。(右上)濱口光子様。(左上)濱口光雄君。

Mr. M. Hamaguchi

"Kyozaikai" Panama

Mrs. M. Hamaguchi



Panama Indians

Market in Panama City



(1) 日本力行會長 永田綱。 (2) 會長代理 木下乙市氏。 (3) 主事 西村仁也氏。 (4) 學生相談所長 細野浩三氏。 (5) 海外巡回圖書館主事 守屋保吉氏。 (6) 永田タラ子(會長夫人)。 大正九年三月五日。

Embarque de Sr. S. Nagata

大正十年六月二十日印刷
大正十年六月二十四日發行

定價金 拾圓
送科 內 五拾錢
外 五拾錢
國 壹圓

發行兼編輯者 永田 稔
東京市小石川區林町七拾番地

印刷者 荻原 勝次郎
東京市小石川區久堅町一〇八番地

印刷所 博文館印刷所
東京市小石川區久堅町一〇八番地

發行所 日本力行會
東京市小石川區林町七拾番地

不許
複製

大賣場

東京市神田區表神保町三番地 東京堂書店
東京市京橋區元數寄屋町三丁目七番地 北隆館書店
東京市京橋區銀座三丁目壹番地 東海堂書店
東京市神田區表神保町一番地 上田屋書店
東京市日本橋區本石町三丁目十四番地 至誠堂書店